

第41回 定例理事会

議事録

平成30年04月18日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会（JATET）

第41回 定例理事会 議事録

日 時：平成30年04月18日（水）14:00～16:30

場 所：JATET会議室

東京都千代田区神田鍛冶町3-8-6第一古川ビル TEL: 03-5289-8858

出席理事：森健輔会長、

西奈美博副会長（事業担当）、

小柳聰副会長（総務担当）、

大志万公博副会長（財務担当、広報担当）、

崎山征雄（専務理事、国内涉外担当、コンプライアンス担当）、

小川幹雄（国際涉外担当）、

山田芳久（業務担当、規程改訂作業部会）、

阿部茂樹、伊藤正示、伊東（市来）邦比古、河瀬靖憲、鈴木伸一、西村岩夫、

長谷川祥久、

出席監事：尾澤輝行、間瀬勝一

欠席顧問：高田一郎

事務局：中川堅司（事務局長）

オブザーバー：中村剛

有効理事総数 14名、出席理事 14名、

出席率 100% 監事2名、事務局1名、オブザーバー1名、計18名

議事録署名人（書記）小川幹雄

議事録要旨：定例理事会

定足数確認：有効理事総数 14名中、14名の出席、監事2名、事務局1名、オブザーバー1名にて本理事会は定足数の過半数を確保し成立した。

議事次第

1. 議長選出

2. 議事録記録署名人選出

議事

3. 報告事項

1) 業務報告	森健輔会長	
2) 事業報告	西奈美博副会長	資料-1
3) 総務報告	小柳聰副会長	
4) 財務報告、広報活動報告	大志万公博副会長	
5) コンプライアンス報告	崎山征雄理事	
6) 規程改訂作業部会報告	山田芳久理事	
7) 國際協力報告	小川幹雄理事	
8) 事務局報告	中川堅司事務局長	
9) その他		

4. 審議事項

第 1 号議案	平成29年度事業報告承認の件	資料-2
第 2 号議案	平成29年度収支決算報告承認の件	資料-3
第 3 号議案	平成30年度通常総会議事次第承認の件	資料-4
第 4 号議案	選挙管理委員会提出理事監事立候補リストの件	資料-5
第 5 号議案	役職理事推薦の件	資料なし
第 6 号議案	正会員C 岩井 秀行氏 退会の件	資料-6
第 7 号議案	株式会社ピーシーライツ 賛助会員 A 入会の件	資料-7
第 8 号議案	「ニッセイ・バックスステージ賞」表彰候補者推薦の件	資料-8
第 9 号議案	平井 哲史氏 正会員 C 入会の件	資料-9
第 10 号議案	平井 哲史氏 映像部会退部の件	資料-10
第 11 号議案	外部理事（監事）の賠償責任限定に関する契約書（案）の件	資料-11
第 12 号議案	理事の職務権限規程（改訂版）（案）の件	資料-12
第 13 号議案	慶弔関連対応細則（案）の件	資料-13
第 14 号議案	久留米シティープラザ見学会の件	資料-14
第 15 号議案	世界劇場会議名古屋フォーラム 2018 後援名義使用許可の件	資料-15
第 16 号議案	発刊物販売費用（送料等）による送付料金の件	資料-16

5. その他

- 1) 平成 30 年度にあたって
森会長
間瀬監事
尾澤監事
- 2) 第 42 回臨時理事会開催日程について（5 月 24 日）
- 3) 閉会

1. 議長選出

定款第 42 条の規定により森健輔会長を議長に選出した。

2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成著名人の選出。出席理事の中から議長が小川幹雄氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

3. 報告事項

1) 業務報告

森健輔会長（資料-議事録）

下記の通り、第 40 回定期理事会以降の業務報告がされた。

平成 30 年 3 月 13 日（火）14:00～ 第 22 回事業執行連絡委員会

平成 30 年 4 月 5 日（木）14:00～ 第 23 回事業執行連絡委員会

2) 事業報告

西奈美博副会長（資料-1）

各部会の活動報告詳細については議事録資料を参照。

教育研修部会では、7 月 3 日（火）に「久留米シティープラザ見学会」開催予定。日本建築学会、日本劇場技術者連盟への後援打診については審議事項で後ほど審議。

建築部会では、前回の理事会より大きな動きなし。事業報告を後ほど事業報告書で詳細報告。

機構部会では、「JATET-M-4010-2 舞台機構操作で使用される用語と操作鉗等の配置」、「JATET-M-6020-1 吊物バトン積載量表示指針」対応の簡易計算シート、「劇場演出空間内の繊維ロープの取扱いについてのガイドライン」を見直し、作成後ホームページに公開した。

照明部会では、LED のカラーフィルターの色度測定を行い、今年 9 月に開催予定の JATET フォーラム 2018 セミナーでの発表を予定。札幌の新施設も LED 照明なので、施設の実機も使用して再現を行うセミナーにしたい。JATET 誌 83 号の担当部会として、各部会の持込み器具の調査を中心に原稿執筆依頼を出す予定。

音響部会では、「JATET-S-6010:2016 劇場等演出空間における音響設備動作特性の測定方法」の解説書を発行した。すでに規格を購入している方については、解説書を郵送済み。

映像部会では、持込機材の現状調査をする方針の進め方を議論する予定。持込機材用電源（部会横断テーマ）に関する作業部会には平井副部会長が参加予定。JATET フォーラム 2018 セミナーには、コマデンの渡辺氏と映像センターの山下氏が参加予定。

広報部会では、リーフレットの配布について、JATET は広報対象の範囲が幅広いた

め、配布対象の見直しや、英語版のリーフレット作成の検討を行った。

イ. JATET フォーラム 2018 について（資料-1）

・第1回 JATET フォーラム 2018 実行委員会 平成 30 年 4 月 5 日(木)13:00～開催。

・第2回 JATET フォーラム 2018 実行委員会

平成 30 年 4 月 25 日(水)14:00～開催予定。

・フォーラム 2018in 北海道は、(公財) 札幌市芸術文化財団と JATET の共同主催とすることを提案している。

・フォーラムのテーマは「札幌文化芸術劇場と最新の舞台技術」とする案を財団に確認中。JATET の技術系部会によるセミナーを開催し、2 日目の午後に劇場見学会を開催予定。

ロ. JATET 技術展について

・JATET 技術展 2018 は、JATET ホームページに技術展 2018 の開催報告を WEB 形式で掲載予定。

・JATET 技術展 2019 では、新国立劇場での技術展開催にあたり、劇場から提出を求められている書類を用意して、5 月 GW 明けを目指し実行委員長と事務局で劇場訪問予定。

ハ. 持込機器用電源盤に関する作業部会について

・前会の理事会で承認された担当理事を西奈美副会長、主査を加藤照明部会長とし、今後、作業部会を招集して来年度のセミナー等に向けて進めていく。

二. JATET 誌 83 号について

・JATET 誌 83 号広告掲載依頼書を会員、非会員に発送済み。6 月 29 日申込締め切りとして募集を開始している。現在の申し込みは 7 社。広告掲載を申し込んで頂けるよう各社の皆様によろしくお願い致します。

3) 総務報告

小柳聰副会長

・2 月 28 日に JATET の運営組織および事業活動の状況に関する内閣府の立ち入り検査が行われた。内閣府の調査官 2 名に対し、理事、監事、事務局長 10 名で対応した。書類等の問題は無く、2 点ほどアドバイスを頂いた。一つ目は、事業区分について、JATET 誌が協会申請時は有料の為、収益事業として登録されたが、その後、広く一般に無償配布するなど事業の実態が変化しているため、公益事業への事業変更の申請を検討しては如何かとのご意見を頂いた。二つ目は、尾澤会計事務所との業務委託契約について契約書を取り交わすことを指摘された。

- ・中川事務局長の契約について、同条件での更新手続きを3月中に済ませた。
- ・事務局の望月さんより、法令改正で就学時前まで育児短時間勤務が延長されたことに伴い、3年間の延長申請があり、取扱通知書を出した。
- ・映像部前部会長の大澤博二氏が逝去され、協会として弔電を会長名で出した。
- ・前回の理事会で事務所コピー機の経費削減を考慮した上で、京セラと富士ゼロックスの2社より見積を取り、検討した結果、富士ゼロックスと契約した。

4)財務報告、広報活動報告

大志万公博副会長

財務報告

- ・4月2日に尾澤会計事務所と決算を済ませた。後ほど審議事項で決算書の審議をお願いする。
- ・4月9日に尾澤監事、間瀬監事にて監査済み。
- ・JATET技術展展示のリース、追加電気料金等は全て3月中に入金確認済み。
- ・平成29年度末時点での会費未納者は正会員C伊藤安雄氏、賛助会員B中俣美沙氏で、伊藤氏については平成29年度、30年度2年分を請求予定。中俣氏については、第40回定期理事会で承認された通り、2年連続未納となり会員資格喪失を通達済み。
- ・特定費用準備資金(2百万円)について、一般会計とは別口座を設け管理することが前回の理事会で承認されたので、取引銀行の中に別口座を設け管理を明確にした。
- ・ゆうちょ銀行振替口座を現在使用していないため、閉鎖の手続きをした。

広報活動報告

- ・リーフレットの新版ができたので、各方面で活用して欲しい。
- ・英語版リーフレットの作製に平成30年度は取り組む。内容についてあらためて論議中。

5)コンプライアンス報告

崎山征雄理事

報告事項はなし。

6)規程改訂作業部会報告

山田芳久理事

- ・前回第40回定期理事会で論議された第7号議案「リスク管理規程」、第8号議案「公益通報者保護規程」は、修正案を書面審議として回議することになった。定款第45条に基づいて事務局にて、理事会の決議の省略による手続きについて(案)を作成し、会長、副会長と確認中。
- ・「外部理事(監事)の賠償責任限定に関する契約書(案)」は、定款第34条第2項に従っているが、同じく定款第34条第3項に「賠償責任の限度額は、理事の職務权限規程によって定めるとある。しかし、「理事の職務权限規程」に賠償責任の限度額の記載がされていないので、修正し改定案を作成した。後ほど審議事項で「理事の

職務権限規程（改訂版）（案）」について審議願いたい。この規程については、総会での審議、承認も必要。

・「外部理事（監事）の賠償責任限定に関する契約書（案）」、「慶弔関連対応細則（案）」についても、後ほど審議事項として審議願いたい。

7)国際涉外担当報告

小川幹雄理事

- ・前回第40回定例理事会で韓国KTLとのMoU（覚書）については、ひとまず一件落着の報告をしたが、その後は、韓国より何か議題はとの問い合わせがあったのみで、今夏の会議であらためて話し合うことになる予定。
- ・OISTATの本部年会費について、昨年度は台湾事務局の繁忙により請求が来なかつたので、改めて問い合わせ、今年度分と二年分、計1千ユーロを納めた。
- ・OISTATでは、劇場用語辞典（シアター・ワーズ）のデジタル版を編集し、ネットにアップしているが、アクセスができなくなっているとの問い合わせがJATET事務局に来たので調査中。辞典については、前回の事業執行連絡委員会でも提案したが、日本語→英語で完成しているのが「衣裳」のみで、舞台、照明、音響等々のセクションについては、あと少しのところで滞っている。今後、JATETのメンバーにも協力して頂きたく、隨時、お願ひする予定。
- ・（一社）文化庁芸術家在外研修員の会が、文化庁芸術家海外研修制度50周年を記念してシンポジウムを開催した。JATET顧問の高田一郎氏も第2期生として49年前に研修。本報告集をJATETに寄贈されるとともに、今後、JATETでも制度活用を検討課題としたい。

8)事務局報告

中川堅司事務局長

本来なら、専務理事である崎山理事からの報告となるが、事務局に常勤されていないこともあるので、事務局長より報告。

イ.内閣府情報

閲覧資料-内閣府情報

- ・内閣府 公益法人メールマガジン第42号（平成30年3月7日発行）
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第43号（平成30年3月23日発行）
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第44号（平成30年4月4日発行）
- ・小柳副会長の総務報告にもあった通り、内閣府立入検査が平成30年2月28日に実施された。立入検査にて尾澤会計事務所との契約書を交わすよう指摘があり、尾澤会計事務所にて契約書（案）を作成いただいた。また、事業区分について、JATET誌を収益事業から公益事業への事業変更の申請を検討しては如何かとのご意見を頂いたので進めていく。
- ・平成30年度事業計画、予算書を3月26日に申請済み。
- ・平成29年度事業報告書、決算書は、本日の理事会で承認を受け、5月開催の通

常総会にて審議承認後、6月末までに内閣府へ申請予定。

ロ. 経済産業省情報&総務省

- ・平成 31 年（2019 年）10 月 1 日から消費税率の引上げと併せて軽減税率制度の広報、周知等への協力依頼が届いている。
- ・自殺対策強化月間。
- ・Web 上での Q&A に対する事務局よりの解答等対応。

ハ. JATET ニュース発行について

- ・下記、2 号を配信した。
 - ・JATET ニュース第 193 号 (平成 30 年 3 月 2 日配信)
 - ・JATET ニュース第 194 号 (平成 30 年 3 月 29 日配信)

二. 会員情報

- ・正会員 A 三精テクノロジーズ（株）代表取締役会長、社長、代表者変更
- ・正会員 A (株) 東京舞台照明 代表者変更
- ・正会員 A パナソニック（株）エコソリューションズ社 代表者部署名変更
- ・正会員 C 岩井 秀行氏 退会 審議事項
- ・正会員 C 長谷川 祥久氏 住所変更
- ・賛助会員 A (株) エス・シー・アライアンス 担当者変更
- ・ピーシーライツ 賛助会員 A 入会申込 審議事項
- ・平井 哲史氏 正会員 C 入会 審議事項
- ・平井 哲史氏 映像部会退部 審議事項

ホ. 諸団体情報

閲覧資料-諸団体情報

- ・平成 30 年 6 月 1 日に愛知県産業労働センターで開催の「世界劇場会議名古屋フォーラム 2018」後援名義使用依頼が届いている。
- ・2 月に開催された「世界劇場会議国際フォーラム 2018in 可児」の事業報告書が届いている。
- ・4 月 3 日に基準協事務局会議が開催され、平成 29 年度、平成 30 年度の予算の報告があった。基準協新刊「文化芸術基本法の成立と文化政策」について、解説本が発行され基準協で取りまとめることにより、3 割引で購入できるとのことなので、必要部数を事務局まで知らせてほしい。
- ・平成 30 年 5 月 10 日～13 日、世田谷パブリックシアターにて、舞台技術者及び舞台関係者の育成と技術向上を目的に「Technical Theatre Training Program 2018」を開催予定。

へ. 会費納入状況&書籍販売状況 閲覧資料-会費納入状況

- ・会費納入状況は、先ほどの大志万理事からの財務報告通り。
- ・規格販売状況は、CDについて2枚の購入があった。

ト. 請求書情報 閲覧資料-請求書情報

- ・JATET ジャーナル執筆料は支払済。

チ. HPについて

- ・JATET ジャーナル Vol. 15 特集「テレビ東京・BS ジャパン 新本社スタジオ」を公開。
- ・JATET-M-4010-2 「舞台機構操作で使用される用語と操作等の配置」公開。
- ・JATET-M-6020-1 「吊物バトン積載量表示指針」対応の簡易計算シート公開。
- ・「劇場演出空間内の繊維ロープの取扱いについてのガイドライン」公開。
- ・照明部会「演出空間における LED 演出照明設備の現状調査報告」公開。
- ・照明部会「演出空間照明器具を安全に使用するために」（演出空間用照明器具・照明機材に関する安全手帳）公開。
- ・機構部会の指針見直しを HP に公開した際に、どのくらいのページビューがあるか知りたいとの要望があり、JATET HP のアクセス解析を開始した。有効なデータとなる様に今後解析の方法を検討していく。

リ. 事務局関連

- ・鹿島建設パンフレットへの掲載について、耐震工事のパンフレットに、当協会の JATET 誌関連記事を参考する掲載の依頼があった。掲載願いを提出して頂き、『公益社団法人 劇場演出空間技術協会 JATET 誌 No. 76 「劇場の改修について」を参照』と記載していただいた。
- ・平成 30 年度 JATET 部会参加申込について、部会委員や役割が変更となる可能性があるため、5 月 24 日開催予定の通常総会後に再登録のお願いを各部会長に案内予定。
- ・舞台音響家協会「ステージサウンドジャーナル誌」に JATET 技術展、イベントセミナーの電研精機「ノイズの基礎知識とその対策方法」、JATET 技術展セミナー音響部会より「オーディオネットワーク時代のノイズ対策」が記事となり発行された。

9) その他

- 6) 規程改訂作業部会報告にあった「修正案を書面審議として回議することになった。

定款第45条に基づいて事務局にて、理事会の決議の省略による手続きについて(案)を作成し、「会長、副会長と確認中」について、中川事務局長より説明がなされた。定款第45条に示す理事会の決議の省略の手続きについては、会長からの理事会決議の目的である事項についての提案に対し、理事全員の同意の意思表示、及び監事全員が意義なしの意思表示が必要となる。公益法人協会発行の「公益法人・一般法人の運営実務」を参考に、提案書面、理事からの同意書面、監事からの意義なしの表明書面を準備して、会長、副会長、専務理事に確認中。確認ができたところで、理事、監事の皆様に当該書面をお送りし、手続きを進めるのでよろしくお願ひします。

4. 審議事項

第1号議案 平成29年度 事業報告承認の件

資料-2

各部会から昨年度の事業報告が提出されており、それにそって事業報告をまとめた。内容は事前送付の通りだが、建築部会報告のみ未提出のため28年度報告のままとなっていた。本資料では平成29年度報告を掲載。

中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第2号議案 平成29年度 収支決算報告承認の件

資料-3

平成29年度会計処理に基づいた収支決算報告となるが、大志万理事から指摘を頂き修正。

9日の監事監査では技術展におけるJATET誌の事業種別について指摘を頂いている。技術展特集として発行したJATET誌82号の広告収入を、展示会開催収益の科目として収益事業1に計上しており、JATET誌発行費を公益事業として計上してしまったため、混乱が生じているという指摘である。

例年、JATET誌の広告収益と発行費は収益事業として計上しているが、平成29年度も同様に収益事業として2号分の予算を組んでいる。本来、予算書に対しての結果を示すのが決算書なので、計画通り収益事業として収支を取りまとめるのが正しい。予算書に準拠して修正したものが資料3-2となる。

一方、2年に1回開催する技術展特集のJATET誌は、公益事業として発行することを考えれば、今後は予算を組む段階で、公益目的事業としてJATET誌発行を予算組することもできるのではないかということが監事の意見。

中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第3号議案に先立って、関連する第11号議案、第12号議案を審議することとする。

第 11 号議案 外部理事（監事）の賠償責任限定に関する契約書（案）の件 資料-11
山田理事から説明のあと、審議に入り、原案通り全員一致で可決承認された。

第 12 号議案 理事の職務権限規程（改訂版）（案）の件 資料-12
山田理事から説明のあと、審議に入り、原案通り全員一致で可決承認された。

第 3 号議案 平成 30 年度 通常総会議事次第承認の件 資料-4
平成 30 年度 通常総会議事次第（案）
審議事項は下記の 17 議案
第 1 号議案 平成 29 年度事業報告承認の件
第 2 号議案 平成 29 年度収支決算報告承認の件
第 3 号議案 理事の職務権限規程承認の件
第 4 号議案～第 17 号議案 理事監事選出選挙
報告事項は下記の 2 件
第 1 号報告 平成 30 年度事業計画の報告の件
第 2 号報告 平成 30 年度収支予算の報告の件
中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第 4 号議案 選挙管理委員会提出理事監事立候補リストの件 資料-5
平成 30 年 4 月 11 日の選挙管理委員会で承認された「平成 30 年 理事監事立候補者名簿」参照。本理事会で審議、承認されましたら、立候補者お一人 1 議案として総会議案書に掲載する。
中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第 5 号議案 役職理事推薦の件 資料なし
総会直後に臨時理事会にて直ちに役職理事を決定する必要がある。
現在の立候補者が全員当選の前提条件だが、現理事会として役職理事候補を推薦し、臨時理事会がスムーズに運営される準備が必要となる。
役職は、会長、副会長（第 1）、副会長（第 2）、副会長（第 3）、専務理事となる。
執行理事と話し合った結果
会長 森 健輔
副会長（第一） 西奈美 博
副会長（第二） 西村 岩夫
副会長（第三） 荻野 均
専務理事 中川 堅司

西奈美副会長から説明のあと、審議に入り、西村岩夫副会長推薦候補から副会長職は辞し、音響部会長の職務に専念したいと申し出があり、副会長一名は欠員として、全員一致で可決承認された。

第6号議案 正会員C 岩井秀行氏 退会の件

資料-6

1月5日付で退会届。

中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第7号議案 株式会社ピーシーライツ 賛助会員A入会の件

資料-7

3月9日付で入会届。

中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第8号議案 「ニッセイ・バックスステージ賞」表彰候補者推薦の件

資料-8

どなたかご推薦頂くか、もしくは推薦者なしで回答するか審議。

中川事務局長から説明のあと審議に入り、推薦者なしで回答することが全員一致で可決承認された。

第9号議案 平井哲史氏 正会員C入会の件

資料-9

3月31日でヒビノアーツを退社し、個人会員としての入会申し込みが届いている。

中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第10号議案 平井哲史氏 映像部会退部の件

資料-10

ヒビノアーツから映像部会に参加していたが、退社するとともに法人会員としての部会参加については退部届が届いている。今後は、個人会員として再入部したいとの意向。

中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第13号議案 慶弔関連対応細則（案）の件

資料-13

山田理事から説明のあと、審議に入り、原案通り全員一致で可決承認された。

第14号議案 久留米シティープラザ見学会の件

資料-14

教育研修部会より事業計画書、予算書が届いている。

日程は先方の都合もあり平成30年7月3日開催予定。

日本建築学会、日本劇場技術者連盟にも後援を打診予定。

平成30年度の計画では見学会（全3回予定）費用として150万円を計上しているが、全体予算が厳しい現状である点も考慮願いたい。

中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第 15 号議案 世界劇場会議名古屋フォーラム 2018 後援名義使用許可の件 資料-15

中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第 16 号議案 発刊物販売費用（送料等）による送付料金の件 資料-16

物流コストの見直しの流れを受け、現状の佐川急便の料金改定の新料金と JP のレターパックを比較したところ、佐川急便は倍近い値上がりとなり、JP のレターパックライトへ変更するか、送料を値上げするか審議。

中川事務局長から説明のあと、審議に入り、JPへの変更が全員一致で可決承認された。

5. その他

1) 森会長より閉会ご挨拶

多数の審議事項があり、長時間お疲れさまでした。感謝申し上げます。本日は平成 30 年度の最初の理事会です。昨年度を振り返りますと、佐藤壽晃専務理事が逝去された後、無事に技術展等も滞りなく開催、順調に運営がなされ良かったと思います。今年度については、内閣府立入検査でご指摘があったように、公益事業比率の改善も含めて、次の一年に向けて前進していきたいと思います。

市来理事より

（一社）日本舞台音響家協会は、現在、公益申請をしており、担当として多忙のため、JATET 次期理事を兼務することが困難である。今までの活動に対して感謝申し上げる次第。

鈴木理事より

定款第 45 条の書面審議について、まだ疑問があるとの発言により、しばらくの間、定款の解釈、方法等について論議があった。

2) 第 42 回臨時理事会開催日程について。

平成 30 年度通常総会後。5 月 24 日（木）14:00～新宿ローズガーデンにて。

3) 閉会

16 時 30 分 森会長が閉会を宣言して終了した。

平成30年04月18日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

第41回定例理事会

役職

署名

捺印

議長（代表理事 森健輔）

森 健輔



監事（尾澤輝行）

尾澤輝行



監事（間瀬勝一）

間瀬勝一



議事録作成署名人（小川幹雄）

小川 幹雄



第42回 臨時理事会
議事録（正）

平成30年5月24日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

1. 開催日時及び場所

日 時：平成30年5月24日（木）17：07～17：28

場 所：ホテルローズガーデン新宿別館2階ローズルーム

東京都新宿区西新宿8丁目4-16

2. 出席理事数及び出席者氏名

出席理事数：10名（理事総数12名）

欠席理事数：2名（臨時理事会開催、議事に同意確認済み）

出席理事名：荻野 均、青野 時彦、西奈美 博、河瀬 靖憲、崎山 征雄、森 健輔、
西村 岩夫、小川 幹雄、鈴木 伸一、中川 堅司

欠席理事名：伊東 正示、長谷川 祥久

出席監事数：2名（監事総数 2名）

出席監事名：尾澤 輝行、間瀬 勝一

3. 議事次第

1) 開会

2) 議長選出

3) 議事録記録署名人選出

4) 議事

第1号議案 代表理事、副会長、専務理事の選任及び業務担当執行理事の決定

前理事会の推薦役職候補

会長（代表理事） 森 健輔 氏 森平舞台機構株式会社/代表取締役

副会長（第1） 西奈美 博 氏 東芝エルティーエンジニアリング株式会社

/取締役アートライティング事業部長

副会長（第2） 荻野 均 氏 三精テクノロジーズ株式会社/取締役

専務理事 中川 堅司 氏 音響（エヌ・ケー・サウンドラボ）

5) 閉会

4. 議事の経過の概要とその結果

1) 開会

役職理事が決定しておりませんので、事務局員の花田が開催の確認をします。

全員異議なし

審議に先立ち、定款第41条（招集）について確認いたします。

定款第41条（招集）

2 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面
又は電磁的記録により、開催日の1週間前までに通知しなければならない。

5 前項の規定にかかわらず、理事及び監事の全員の同意があるときは、

招集の手続を経ることなく理事会を開催することができる。

この理事会は、選挙に先立ち、理事、監事立候補者の皆さまより、

当選後は臨時理事会に出席する旨の返事をいただきました。

当協会の定款第43条（定足数） 「理事会は、理事の過半数以上の出席をもって成立する。」 の規定に従い定足数を確認いたします。

理事構成員12名中、出席10名、欠席2名で過半数の出席を確認しました。出席監事は2名です。

以上により、本日の第42回臨時理事会の成立を宣言いたします。

2) 議長選出

定款第42条（議長）で「理事会の議長は、会長がこれにあたる。」と定めておりますが、役職理事が決定しておりません。

理事会運営規程で、

第6条（理事会の議長）

3 理事全員改選直後の理事会における議長は、出席した理事の中から互選された者がこれに当たる。

と定めておりますので、本日選出された新役員の内から議長の選出をお願いします。

ご出席の前会長である森 健輔氏に議長をお願いするのは、皆様いかがでしょうか。

全員異議なし

森 健輔氏を議長に選出。

3) 議事録署名人選出

定款第46条の規定により、西奈美 博氏を議事録記録署名人に選出、同氏はこれを受諾。

4) 議案の審議

<第1号議案 代表理事、副会長、専務理事の選任及び業務担当執行理事の決定>

定款第27条（選任）

2 代表理事、副会長、専務理事及び専門の業務担当理事は理事会において選任する。

と定めており、この臨時理事会にて直ちに役職理事を決定する必要があるため、第41回定例理事会にて次の4名を役職理事候補として推薦いたしました。

会長（代表理事） 森 健輔 森平舞台機構株式会社/代表取締役

副会長（第1） 西奈美 博 東芝エルティーエンジニアリング株式会社
/取締役アートライティング事業部長

副会長（第2） 荻野 均 三精テクノロジーズ株式会社/取締役

専務理事 中川 堅司 音響（エヌ・ケー・サウンドラボ）

副会長の順位は、

理事の職務権限規程

第8条（副会長）

(2) 会長に事故あるとき又は欠けたときは、理事会が予め決定した順序によって
会長の業務執行に係る職務を代行する。

と定めており、副会長がその順位に従い会長の職務を代行することとなります。

代表理事、副会長、専務理事の選任について決議を行い、推薦内容の通りで、全員一致にて可

決承認されました。

会長（代表理事） 森 健輔

副会長（第1） 西奈美 博

副会長（第2） 萩野 均

専務理事 中川 堅司

以上の皆様は、本日より業務の執行をお願いいたします。

専務理事は、常勤になりますので、事務局の統括をお願いいたします。

それでは、あらためて会長に選任されたので、定款第42条の規定により、会長の私が議長を務めます。

続いて業務担当執行理事について審議いたします。

定款第26条（種類及び定数）

3 本会の会長を代表理事とし、副会長、専務理事に加え、専門の業務担当理事3人を限度として、「一般社団・財團法人法」第91条第1項第2号に規定する業務執行理事とする。と定めております。

現状の理事立候補者の名簿を基に、前副会長及び事務局長と相談し、次の提案を行います。

理事の職務権限規程

第7条（会長）

代表理事として本会を代表し、その業務を統括し執行する。

と定めておりますので、

統括責任者 会長である私、森 健輔

理事の職務権限規程

第8条（副会長）

会長を補佐し、本会の業務を執行する。

と定めておりますので、事業担当、財務担当はそれぞれ

事業担当 西奈美 博 副会長

前期より JATET フォーラムや技術展の事業担当をされておりましたので、引き続きお願いしたいということです。

財務担当 萩野 均 副会長

これまで大志万副会長が担当されておりましたので、引き継ぎをお願いいたします。

理事の職務権限規程

第9条（専務理事）

(1) 事務局を統括するとともに、会長及び副会長を補佐し、本会の業務を執行する。

と定めておりますので、

事務局統括 国内渉外担当 中川 堅司 専務理事

次に定款第26条の定めにより、専門の業務担当理事として、総務担当、国際渉外担当、コンプライアンス担当の3名を選任いたします。

総務担当 青野 時彦 理事

総務担当理事は、以前より副会長が兼務しておりましたが、今期は副会長が2名となりました関係で選任が必要となります。前執行部からの推薦として、事務局から打診をさせていただきました。

国際涉外担当 小川 幹雄 理事

国際涉外担当は、OISTAT 及び KTL との関係があり、小川理事は OISTAT 副会長でもありますので、前期に続き、ご尽力をお願いしたいと思います。国際交流をより活発化させていただきたいという人選です。

コンプライアンス担当 嶋山 征雄 理事

前期途中より、コンプライアンス担当理事をお願いしておりますので、継続していただきたいという人選です。

規程改訂作業部会担当につきましては、

規程改訂作業部会担当 中川 堅司 専務理事

前期は、山田理事が担当しておりましたが退任となつたことと、その間、事務局長として中川さんが協力して作業をしており、残りの規程類もわずかですので、中川専務理事にお願いしたいということです。

業務執行担当理事について決議を行い、推薦内容の通りで、全員一致にて可決承認されました。

統括責任者 森 健輔 会長

事業担当 西奈美 博 副会長

財務担当 荻野 均 副会長

総務担当 青野 時彦 理事

事務局統括 国内涉外担当 中川 堅司 専務理事

国際涉外担当 小川 幹雄 理事

コンプライアンス担当 嶋山 征雄 理事

規程改訂作業部会担当 中川 堅司専務理事が兼務

新しく業務担当執行理事に選任された方は、前任者から業務の引き継ぎをお願いいたします。

それでは、早々に6月の事業執行連絡委員会の日程を決定したいと思います。

6月12日 14:00～と決定させていただきます。

最後に顧問選出について審議いたします。

定款第35条（顧問及び参与）

2 顧問及び参与は、学識経験者又は本会に功労のあった者のうちから、理事会の推薦により、会長が委嘱する。

以上に基づき、引き続き前顧問の高田一郎氏に就任をお願いしたいのですが、いかがでしょうか。

全員一致にて可決承認されましたので、引き続き高田一郎氏に顧問をお願いいたします。

本日の審議事項は以上となります。

次回の第43回定例理事会の日程を決定したいと思います。

第43回定例理事会は、8月22日14時～

JATET会議室にて開催しますので、ご予定の確保をお願いします。

公益法人と理事の責任と義務を良くご理解の上、理事会に出席をお願いいたします。

5) 閉会

17時28分 中川事務局長が閉会を宣言し終了した。

平成 30 年 5 月 24 日

上記議事録を明確にする為、公益社団法人 劇場演出空間技術協会 第 42 回臨時理事会に出席した理事、監事全員は次に署名押印する。

出席理事・監事署名

荻野 均 理事

荻野 均

青野 時彦 理事

青野 時彦

西奈美 博 理事

西奈美 博

河瀬 靖憲 理事

河瀬 靖憲

崎山 征雄 理事

崎山 征雄

森 健輔 理事

森 健輔

西村 岩夫 理事

西村 岩夫

小川 幹雄 理事

小川 幹雄

鈴木 伸一 理事

鈴木 伸一

中川 堅司 理事

中川 堅司

尾澤 輝行 監事

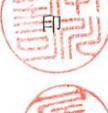
尾澤 輝行

間瀬 勝一 監事

間瀬 勝一

伊東 正示 理事 (欠席届-同意書有)

捺印 (実印)



印

長谷川 祥久 理事 (欠席届-同意書有)

印

第43回 定例理事会

議 事 錄 (正)

平成30年8月22日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会（JATET）

第43回 定例理事会 議事録（正）

日 時：平成30年8月22日（水）14:00～16:00

場 所：JATET会議室

東京都千代田区神田鍛冶町3-8-6 古川ビル TEL: 03-5289-8858

出席理事：森健輔会長、

西奈美博副会長（事業担当）、

荻野均副会長（財務担当）、

中川堅司専務理事（事務局統括、国内涉外担当）

青野時彦（総務担当）、

崎山征雄（コンプライアンス担当）、

小川幹雄（国際涉外担当）、

西村岩夫、鈴木伸一

欠席理事：河瀬靖憲、伊東正示、長谷川祥久

出席監事：尾澤輝行、間瀬勝一

欠席顧問：高田一郎

事務局：中川堅司（事務局長）

有効理事総数 12名、出席理事 9名、欠席理事 3名

出席率 75% 監事2名、事務局（1名）、計11名

議事録署名人（書記）西村岩夫

議事録要旨：定例理事会

定足数確認：有効理事総数 12名中、9名の出席、監事2名、事務局（1名）にて本理事会は定足数の過半数を確保し成立した。

議事次第

1. 議長選出

2. 議事録記録署名人選出

議事

3. 報告事項

1) 業務報告

森健輔会長

2) 事業報告	西奈美博副会長	資料
-1		
3) 財務報告	荻野均副会長	
4) 総務報告	青野時彦理事	
5) 国際協力報告	小川幹雄理事	
6) コンプライアンス報告	崎山征雄理事	
7) 規程改訂作業部会報告	中川堅司専務理事	
8) 事務局報告	中川堅司専務理事	
9) その他		

4. 審議事項

第1号議案	JATET誌84号について	資料-2
第2号議案	部会の入会申込承認の件	資料-3
第3号議案	部会の登録手続きの簡素化について	資料-4
第4号議案	正会員C 伊藤 安雄氏 退会の件	資料-5
第5号議案	賛助会員B 吉田 錠治氏 退会の件	資料-6
第6号議案	平成31年度以降のJATET事務局労務関係業務委託について	資料-7
追加審議事項		
第7号議案	Inter BEE 2018 協力名義の使用許可お願いの件	追加資料

5. その他

- 1) 第44回定例理事会開催日程（11月）、第45回定例理事会開催日程（2月）について
- 2) 閉会

1. 議長選出

定款第 42 条の規定により森健輔会長を議長に選出した。

2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成著名人の選出。出席理事の中から議長が西村岩夫氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

3. 報告事項

1) 業務報告

森健輔会長（資料-議事録）

下記の通り、第 41 回定例理事会以降の業務報告がされた。

平成 30 年 5 月 15 日（火）14:00～ 第 24 回事業執行連絡委員会

平成 30 年 6 月 12 日（火）14:00～ 第 25 回事業執行連絡委員会

平成 30 年 7 月 11 日（水）14:30～ 第 26 回事業執行連絡委員会

平成 30 年 8 月 8 日（水）14:00～ 第 27 回事業執行連絡委員会

2) 事業報告

西奈美博副会長（資料-1）

各部会の活動報告詳細については各部会議事録資料を参照。

教育研修部会では「久留米シティープラザ見学会」を 7 月 3 日（火）に開催し、60 名弱の参加があった。現在、JATET ジャーナル Vol. 16 の発行に向け編集を進めている。また、今年度事業の見学会として「日本青年館」を予定していたが、次年度の事業として来年 11 月 19 日開催予定で進める。

建築部会では前回理事会以降大きな動きは無いため報告事項はなし。

機構部会ではマニラロープ・ザイザルロープについて、ロープメーカーに協力を頂き 25 年程度使用したロープの引張試験を行い残存強度を調べその試験結果をホームページに公開予定。

崎山理事から提案があった小規模施設の事故に対して、協会としての提言について事故事例を収集し調査研究を行っている。

JATET-M-6040-1「舞台機械設備の運用操作の注意事項」の改訂について検討を進めている。

照明部会では 200V/30A-D 型の接続器の規格について検討し、規格書の案を作成した。

音響部会では「舞台連絡設備指針」の改訂に向けた調査を進めている。また、安全手帳の音響版及び劣化診断プログラムについて作業を進めている。

映像部会では前回理事会以降大きな動きは無いため報告事項はなし。

広報部会では JATET リーフレットを「岡山県公立文化施設協議会 平成 30 年度技術研修会」にて配布した。

事業執行連絡委員会でJATETリーフレットのWeb上での公開及びダウンロードについて提案を行い、執行理事から賛同を得たので、当協会HP上で公開及びダウンロード化に向け作業を行っている。また、同リーフレットの英語版作成についても検討を進めている。

イ. JATET フォーラム 2018について

下記の通り、第41回定例理事会以降の業務報告がされた。

平成30年4月25日(水)13:00～ 第2回 JATET フォーラム 2018 実行委員会
平成30年5月28日(月)13:00～ 第3回 JATET フォーラム 2018 実行委員会
平成30年6月25日(月)13:00～ 第4回 JATET フォーラム 2018 実行委員会
平成30年7月27日(金)14:00～ 第5回 JATET フォーラム 2018 実行委員会
第6回 JATET フォーラム 2018 実行委員会は、平成30年8月30日(木)14:00
から開催予定。

フォーラム 2018in 北海道は、(公財)札幌市芸術文化財団と JATET の共同主催とすることが決定し、フォーラムのテーマは「札幌文化芸術劇場と最新の舞台技術」に決定した。また、セミナーテーマと講師についても決定済み。シンポジウムのテーマは「最新機構を用いた劇場運営の可能性と課題」として、劇場の技術スタッフ、JATET の部会メンバーで意見交換を行う予定。

現在、セミナー参加申込数は、約156名です。目標200名まであと少しとなっており、引き続き皆様にお声がけをお願いします。

開催案内チラシは約11,000部関係各所に発送済みで、札幌市芸術文化財団に1,000部、日本照明家協会、日本舞台音響家協会については機関誌に同封して頂いた。

フォーラム1日目は懇親会を開催予定で、現在参加申込数は、約73名となっています。共催・協力・後援団体、セミナー講師には、懇親会の招待状を発送している。

現在、共催・協力・後援団体の招待者の方で出席のご連絡を頂いている方は、
一般社団法人 日本劇場技術者連盟 顧問 山形 等 様
一般社団法人 日本音響家協会 北海道支部長 大沢 実 様
公益社団法人 全国公立文化施設協会 専務理事 松本 辰明 様
公益社団法人 日本照明家協会 北海道支部支部長 長内 郁人 様の4名となります。セミナーと合わせて、懇親会もお声がけをよろしくお願ひいたします。

ロ. JATET 技術展について

JATET 技術展 2018 は、JATET ホームページに開催報告を Web 形式で掲載した。

JATET 技術展 2019 では、新国立劇場での技術展開催にあたり、8月8日に森会

長、中川専務理事で劇場を訪問し、濱技術部長と畠中総務部長と打ち合わせを行った。8月13日に濱部長立会いのもと、中川専務理事、金井大道具の岡崎氏とセンス渡邊氏の3名で、中劇場の現場確認を行った。

ハ. JATET誌について

JATET誌83号広告掲載について、最終的に申込は21社となり現在9月上旬の発行に向け作業を進めている。JATET誌84号については、後程ご審議頂きます。

二. 事業統一作業準備部会について

第1回事業統一準備作業部会を平成30年6月12日（火）15:10から開催した。作業部会の構成メンバーは、業務執行理事とし、作業部会長は専務理事とする。公益3事業、収益1事業を一つの公益事業に一本化するにあたり、先ずは収益事業とされているJATET誌を公益事業にまとめる作業から進めていく予定です。

3) 財務報告 長

荻野均副会

閲覧資料ー財務報告を御覧ください。

毎月青野理事と総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしており、問題はありません。

2018年度の会費は、7月31日納入期限でしたが未納者には、理事会後に請求書を再発行する予定です。

4) 総務報告 事

青野時彦理

事務局関連及び請求書等の閲覧資料を御覧ください。

事務局事務所賃貸契約更新について、2年更新のため会長了承のもと、中川専務理事が先日更新の手続きを行いました。事務所賃貸契約更新料は既に支払い済みです。

時給最低賃金について、厚生労働省より2018年度の最低賃金の目安となる時給を全国平均で26円引き上げることが発表されました。10月1日施行予定のため、その時点でアルバイトの時給958円から引き上げ額に合わせ賃金を上げる予定です。

5) 国際涉外担当報告 事

小川幹雄理

閲覧資料の国際涉外報告を御覧ください。

OISTATの劇場用語解説である、シアターワーズのデジタル版(DTW)をJATETで協力して完成させる準備を進めている。

OISTAT 日本センターの通常総会が 6 月 20 日に開催され議事録が届いていますのでご確認下さい。

韓国 KTL では、この 8 月末から 9 月初旬にかけて 5 機関によるアライアンス会議が持たれる予定です。

OISTAT は設立 50 周年記念ということで、イギリスで記念イベントが行われます。これらについての報告は次回資料等を添えて報告させて頂きます。

6) コンプライアンス報告

崎山征雄理

事

期間中コンプライアンス上問題となる事項はありません。

7) 規程改訂作業部会報告

中川堅司専務理事

今回の理事会開催案内に「講習会・講演会に関する講師派遣基準細則（案）」、「謝礼支払内規（案）」、「JATET 出版物頒布価格設定基準（案）」の 3 規程を入れており、本日の理事会で審議いただく予定でしたが、直近の事業執行連絡委員会で検討した結果、さらに修正が必要となりましたので現在見直しを進めております。次回以降の理事会での審議、承認に向け、進めていきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

8) 事務局報告

中川堅司専務理

事

イ. 内閣府情報

閲覧資料-内閣府情報

内閣府からの情報は、下記閲覧資料のとおり。

- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 45 号（平成 30 年 4 月 25 日発行）を閲覧
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 46 号（平成 30 年 5 月 10 日発行）を閲覧
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 47 号（平成 30 年 5 月 23 日発行）を閲覧
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 48 号（平成 30 年 6 月 6 日発行）を閲覧
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 49 号（平成 30 年 6 月 20 日発行）を閲覧
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 50 号（平成 30 年 7 月 4 日発行）を閲覧
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 51 号（平成 30 年 7 月 18 日発行）を閲覧
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 52 号（平成 30 年 8 月 1 日発行）を閲覧

平成 29 年度の事業報告書及び理事改選に伴う変更届出書を 6 月 22 日に内閣府へ提出した。現在、内閣府で提出書類について確認して頂いている状況です。

ロ. 経済産業省情報&総務省

閲覧資料-経済産業省&総務省

コンテンツ産業課より「後援名義等の使用の申請及びその報告書を提出する場合、

捺印を要する書類を除く添付書類については、電子媒体による提出」のお願いの書面が届いております。当協会で来年度予定している技術展につきましては、経済産業省と文化庁に後援名義使用のお願いをする予定ですので、この内容に関連することとなります。

経済産業省からは、「夏季の省エネルギーの取り組みについて」の周知と協力要請。「新元号への移行について情報システム改修等を円滑に進めるために、新元号の公表時期を 1 ヶ月前と想定し、準備を進める決定」のお知らせ。「経済産業省ホームページを模倣した WEB サイト」注意喚起についての通達が来ています。

総務省からは、「科学技術研究調査について」調査票の提出依頼が届き提出済み。

ハ. JATET ニュース発行について

下記、5 号を配信しました。

- ・ JATET ニュース第 195 号 (平成 30 年 5 月 7 日配信)
- ・ JATET ニュース第 196 号 (平成 30 年 6 月 1 日配信)
- ・ JATET ニュース第 197 号 (平成 30 年 6 月 28 日配信)
- ・ JATET ニュース第 198 号 (平成 30 年 7 月 17 日配信)
- ・ JATET ニュース第 199 号 (平成 30 年 8 月 7 日配信)

二. 会員情報

閲覧資料-会員情報

正会員 A ヒビノアークス（株） 登録情報変更

正会員 A 三菱重工機械システム（株） 登録情報変更

正会員 C 伊藤安雄氏 退会 （審議事項）

賛助会員 A TOA（株） 登録情報変更

賛助会員 A 愛知県舞台運営事業協同組合 登録情報変更

賛助会員 B 吉田銳治氏 退会 （審議事項）

賛助特別 （公財）びわ湖ホール 登録情報変更

審議事項については、後程ご審議願います。

その他、会員関係各社、各団体から役員交代のお知らせが届いていますので閲覧願います。

ホ. 諸団体情報

閲覧資料-諸団体情報

公文協ホームページの「情報プラザ」の運用開始及び事前情報入力についてメールが届いた。現在、JATET フォーラム 2018 の開催案内を掲載いただいている。

基準協「文化芸術推進フォーラム提言 2018」について最新版が届いている。

日本照明工業会報をペーパーレス化したいとの要望があったが、JATET としては、今まで通り冊子で送って頂くようお願いしている。

(一社)舞台技術者連合より、舞台技術者のための横断的総合研修（基礎）（中級）の案内が届いた。

その他、各協会からの情報が届いていますので閲覧して下さい。

ヘ. 書籍販売状況

閲覧資料-書籍販売状況

4月から7月末までの書籍の販売状況は、JATET-M-6030-3 吊物機構安全指針・同解説が10冊、JATET-M-5040-1 床機構安全指針・同解説が5冊、JATET-S-6010:2016 劇場等演出空間における音響設備動作特性の測定方法が4冊、Pro Audio Acoustics Technical CD（プロオーディオ音響技術CD）が3枚で合計12万3千円の売上となっている。

ト. HPについて

「JATET フォーラム 2018 セミナー、懇親会」申込受付中。

チ. 請求書情報

閲覧資料-請求書情報

4月以降3ヶ月分の請求書情報（コピー、電話、事務所賃料等）を回覧しますので閲覧下さい。

リ. 事務局関連

閲覧資料-事務局関連

平成30年度通常総会では、皆様のおかげで懇親会も盛況に終わり無事終了した。東京都立中央図書館よりJATET誌77号以降の寄贈依頼があり、先方送料負担にて寄贈した。

各部会宛に問い合わせがいくつか届き、適宜回答している。主な問い合わせ内容は以下の通り。

正会員A 三菱重工機械システムから「公共劇場・ホールの維持費用の算定についてJATETでの集計資料はないか」という問い合わせに対し、JATETでは、そのような集計資料は無いと返答。若しかすると全公文や他の協会で情報を持っている可能性があることを伝えた。

5/16:岡山県真庭市役所から「岡山県、西日本での施工実績がある舞台機構メーカーについて教えてほしい」という問い合わせがあった。

6/13:東京都狛江市西河原公民館から「納入品を担保する目的でのJATET会員を指定しているが問題ないか」という問い合わせがありJATET規格に基づいていればJATET会員でなくともOKと返答した。

7/27:宮若市社会教育課から「吊物バトンには2本のワイヤーロープを必ず使うという指針があるか」という問い合わせがあり機構部会から「吊物機構安全指針・同解説」と日本建築センターが発行している「懸垂物安全指針・同解説」で

該当するページを紹介した。

4. 審議事項

第1号議案 JATET誌84号について

資料-2

JATET84号について、2点ご審議ください。

まず、JATET誌84号広告掲載について、依頼書は、今月上旬に発送いたしました。

JATET誌の発行部数、予算についてご説明いたします。資料-2の予算書を御覧下さい。

まず、広告収入に関しては、現状24社を想定しており約528万円の収入を見込んでおります。支出に関しては、発行部数2500部として印刷費、編集費、配送料、執筆料で小計約260万円と編集作業アルバイト料、その他必要経費が90万円で支出合計350万円を見込んでおり、収支は約177万円で計画しております。JATET誌84号の発行部数、予算についてご審議願います。

中川専務理事から説明のあと、JATET誌84号の発行部数、予算について審議に入り全員一致で可決承認された。

次にJATET誌84号の編集担当についてですが、第37回定例理事会において、「上期号（夏号）は、部会持ち回り編集による一般特集、下期号（冬号）は、事務局、実行委員会による技術展またはフォーラムの特集とする。持ち回りは、照明→音響→映像→機構→建築という輪番体制とし、編集テーマ等は、担当部会と事業執行理事で各年度下期に翌年度の方針案を作成、理事会の承認を得る。」と決議されております。今号83号は、照明部会が担当でしたので、次号JATET誌84号は、音響部会が担当となりますかがよろしいでしょうか。また、編集テーマ等は、音響部会、事業執行理事に一任で進めさせて頂きたいご審議ください。

音響部会が担当となりました場合、部会でJATET誌84号の方針（案）を11月の理事会まで取りまとめ、ご審議、承認を頂けるよう進めていきます。尚、今まででは冬号が技術展、フォーラム特集としておりましたが、今年度は、夏にフォーラム開催、来年度の技術展も夏の開催となるため、今年度以降は、上期、下期の区分けが変わっていく可能性がありますので、下期も部会が担当になる号も出てきます。

中川専務理事から説明のあと、以下議案に対する質疑応答及び意見が出された。

鈴木理事から「編集テーマ等は、音響部会、事業執行理事に一任」とありますが、編集テーマ等の等は、編集テーマ以外に諸々の問題が起きた場合に事業執行理事が担当すると言う解釈で良いのですか。また、事業執行理事とは西奈美理事のことでしょうかとの質問があり、中川専務理事から事業執行連絡委員会に出席されている理事全員のことと説明があった。

鈴木理事から今まで大志万理事が広報担当でJATET誌の担当をされていました

が、今回は担当理事がないので、事業執行理事全体で審議するということですか。中川専務理事より、理事会の諮問機関として事業執行連絡委員会がありますので、編集テーマ等に関しては、担当部会から提案があった内容を会長以下事業執行理事全員で審議し、理事会に上程することになるとの説明がなされた。

鈴木理事から JATET 誌の編集に関しては、過去著作権等の問題が起きたこともありますので、しっかりと担当の執行理事を決めた方が良いとの意見があった。

鈴木理事から JATET 誌は、各号でフォーラム、技術展特集と各部会による責任編集を交互に行うことは理解していますが、各技術系の部会は 5 部会ありますので編集担当となる頻度が 5 年に 1 回となります。JATET 誌で技術系の部会が、世の中に対して今の技術を知らせる場となるので、5 年に 1 回だとあまりにも間隔が空き過ぎるのではないかと思います。そこで提案ですが、フォーラム、技術展特集は別扱いとして、年間 2 号発行する JATET 誌は各技術系部会輪番で廻していくようにすれば 2.5 年に 1 回各部会に担当が廻って来ることになるので、より最新の技術を紹介して行けるようになるのではないかと考えます。西村理事より JATET 誌は 83 号を例にあげると担当部会がテーマとして取り上げた内容に対して、全技術系部会で対応して執筆活動を行っているので、頻度としては、5 年に 1 回では無く、隔号でテーマに沿った技術の紹介となっています。鈴木理事から今回の照明部会から出されたテーマは、部会横断のテーマであったのでそのようになったが、本来担当部会の専門分野を中心としたテーマとすべきではないかとの意見があった。

続いて JATET 誌 84 号の担当部会、事業執行理事の一任について審議に入り全員一致で可決承認された。

第 2 号議案 部会の入会申込承認の件

資料-3

部会の入会申込承認の件について説明いたします。資料-3 をご覧ください。

各部会がまとめた今期の部会委員リストです。各部会に前期の部会員の出席簿の提出をお願いしました。部会も正式機関となり、部会出席は必須条件になりますので、申込書には法規、定款、規程の遵守と出席を誓約しております。

まず、教育研修部会の新規申込、退部の方をご報告いたします。教育研修部会の委員名簿をご覧ください。

(新規申込者)

正会員 A ヒビノアークス（株）片山 一宮（かたやま かずみや）氏

(退部者)

正会員 A ヒビノアークス（株）北島 雅敏（きたじま まさとし）氏

中川専務理事から説明のあと、教育研修部会の新規申込者、退部者及び委員名簿の承認審議に入り全員一致で可決承認された。

建築部会の新規申込、退部の方をご報告いたします。建築部会の委員名簿をご覧ください。

(新規申込者)

賛助会員 B 鹿島建設(株) 小川 清則 (おがわ きよのり) 氏

賛助会員 B 静岡文化芸術大学文化政策学部 永井 聰子 (ながい さとこ) 氏

(退部者)

正会員 B (株)安井建築設計事務所 横木賢一 (あべき けんいち) 氏

賛助会員 B 梓設計 永池 雅人 (ながいけ まさと) 氏

次に推薦状をご覧ください。

非会員である A.T.Network の神戸 信吉 (かんべ しんきち) 氏は、調査や分析作業などで JATET に支援をしているため建築部会員として推薦されました。

続いて、理由書をご覧ください。

古橋 祐氏、西 豊彦氏は、複数部会参加申込をされておりますので、理由書の提出がされております。

中川専務理事から説明のあと、建築部会の新規申込者、退部者、被推薦者、複数部会参加申込者及び委員名簿の承認審議に入り全員一致で可決承認された。

機構部会の新規申込、退部の方をご報告いたします。機構部会の委員名簿をご覧ください。

(新規申込者)

正会員 A 森平舞台機構 (株) 山本 一仁 (やまもと かずひと) 氏

正会員 A カヤバシステムマシナリー (株) 岡村 和徳 (おかむら かずのり) 氏

(退部者)

正会員 A 森平舞台機構 (株) 大河原 慧一 (おおかわら けいいち) 氏

正会員 A カヤバシステムマシナリー (株) 副島 正浩 (そえじま まさひろ) 氏

中川専務理事から説明のあと、機構部会の新規申込者、退部者及び委員名簿の承認審議に入り全員一致で可決承認された。

照明部会の新規申込、退部の方をご報告いたします。照明部会の委員名簿をご覧ください。

(新規申込者)

正会員 A パナソニック(株)エコリューションズ社 角 佳和 (すみ よしかず) 氏

正会員 A 東芝エクティエンジニアリング (株) 中澤 浩一 (なかざわ こういち) 氏

正会員 A (株)松村電機製作所 野田 恭正 (のだ のりまさ) 氏

賛助会員 A 愛知県舞台運営事業協同組合 小久保 和紀 (こくぼ かずのり) 氏

(退部者)

正会員 A 丸茂電機（株） 土崎 研一（つちざき けんいち）氏

正会員 A 東芝エレティエンジニアリング（株） 西奈美 博（にしなみ ひろし）氏

正会員 C （株）CTTS 千葉 英雄（ちば ひでお）氏

賛助会員 A 愛知県舞台運営事業協同組合 古川 靖（ふるかわ やすし）氏

賛助会員特別（公財）新国立劇場運営財団 濱 照男（はま てるお）氏

中川専務理事から説明のあと、照明部会の新規申込者、退部者及び委員名簿の承認審議に入り全員一致で可決承認された。

音響部会の新規申込、退部の方をご報告いたします。音響部会の委員名簿をご覧ください。

(新規申込者)

賛助会員 A ボーズ合同会社 岡本 大輔（おかもと だいすけ）氏

賛助会員 A ボーズ合同会社 井戸 覚道（いど かくどう）氏

(退部者)

賛助会員 A ヒビノ（株） 小野 良行（おの よしゆき）氏

賛助会員 B （株）日建設計 田中 葉子（たなか ようこ）氏

次に理由書をご覧ください。

鈴木 伸一氏は、複数部会参加申込をされておりますので、理由書の提出がされております。

中川専務理事から説明のあと、音響部会の新規申込者、退部者、複数部会参加申込者及び委員名簿の承認審議に入り全員一致で可決承認された。

映像部会の新規申込、退部の方をご報告いたします。映像部会の委員名簿をご覧ください。

(新規申込者)

なし

(退部者)

なし

次に理由書をご覧ください。

鈴木 伸一氏は、複数部会参加申込をされておりますので、理由書の提出がされております。

中川専務理事から説明のあと、映像部会の複数部会参加申込者及び委員名簿の承認審議に入り全員一致で可決承認された。

広報部会の新規申込、退部の方をご報告いたします。広報部会の委員名簿をご確認

下さい。

(新規申込者)

なし

(退部者)

正会員 C 香山壽夫建築研究所 長谷川 祥久（はせがわ さちお）氏

次に理由書をご覧ください。

鈴木 伸一氏、古橋 祐氏、西 豊彦氏は、複数部会参加申込をされておりますので、理由書の提出がされております。

中川専務理事から説明のあと、広報部会の退部者、複数部会参加申込者及び委員名簿の承認審議に入り全員一致で可決承認された。

第 3 号議案 部会の登録手続きの簡素化について

資料

-4

提案者である鈴木理事から部会の登録手続きの簡素化についての提案内容を説明いたします。

部会委員の登録手続きは、役員改選の年（2年に1回）に行われています。新規申込時には、その都度理事会の承認を得て登録されています。また、退部時にもその都度理事会の承認を得て抹消登録されています。このことから部会委員は、年度の初めに自動的に決定しているものと思われます。また、部会委員の出席状況は、部会長が出欠簿をつけ管理しているので、上記理事会承認後の部会委員登録（再登録）に関して、各部会長に一任して良いのではないかと考えます。また、申込書類の簡素化の提案として JATET 部会参加申込書（申込-1）のみで登録手続きが済むようにしては如何でしょうか。

中川専務理事より申込書の書式に関する説明。JATET 部会参加申込書（申込-1）は、書類の冒頭に記載されている「私は、定款及び諸規定を遵守し、協会活動に協力し、部会に出席しますので、下記の通り、部会への参加を希望いたします。」という誓約の上で記名押印することが、部会参加申込時の重要事項となっています。また、申込者が法人会員の場合、JATET 登録代表者の許可を得て部会参加申込していることを明確にするため登録代表者の記名押印することになっている。申込-2 の主な目的は、各部会長が部会委員名簿を作成する時にこの情報を元に転記しやすいような書式となっている。また、JATET 登録代表者において、自社の社員がどの部会に何名参加しているかを把握しやすくする目的もある。個人的な見解では、個人会員においては申込-2 の記入は必要ないと思われる。ただし、法人会員については、必要な情報であるので簡素化するのであれば、申込-1 に申込-2 の情報を記載出来る書式とすれば良いと思われる。

西村理事から部会長を務める者としての意見ですが、先程の第2号議案で部会委員名簿の承認を頂きましたが、出欠簿を見ると過去2年間一度も出席していない委員も含まれており部会の運営に支障がある状況です。部会長としては退部願いたいと考えていますが、現状の部会規程では、このあたりの責任と権限が明記されていないので、部会長の判断で退部を促すことはしておりません。また、部会委員の任期がはっきりしないので、部会招集等で困ることがある。

森会長より、皆さんから様々な意見が出ている中で、確かに簡素化の問題や委員任命の日付など不透明なところが多くありますので、これは定款の変更にも関わってきますから早急に結論が出せる問題ではないのですが、作業部会等を立上げ検討すべき重要な内容だと思います。崎山理事より、この問題は定款に書くような内容ではなく部会規程の中で運用規程として定めた方が良いと思われる。また、部会に殆ど出て来ない委員と出席率が高い委員では、部会内で討議する内容に対して理解度に差があるので、同じ立場では討議できないと思われる。

森会長より、この内容は部会運営において重要な問題ですので、中川専務理事と鈴木理事が中心となり作業部会を立上げ具体的な検討を進めることを審議したいと考えます。

上記の討議がなされたあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第4号議案 正会員C 伊藤 安雄氏 退会の件

資料-5

正会員C 伊藤 安雄氏 退会の件について説明いたします。

平成29年、30年度2年分の会費は、お支払い頂いておりますが、伊藤氏から5月18日付で退会届が届いております。伊藤氏退会の件ご審議ください。

中川専務理事から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第5号議案 賛助会員B 吉田 錠治氏 退会の件

資料-6

賛助会員B 吉田 錠治氏 退会の件について説明いたします。

今年度の会費は、お支払い頂いておりますが、吉田氏から6月18日付で退会届が届いており、平成31年3月31日付をもって当協会を退会したいとのご意思があります。

吉田氏退会の件ご審議下さい。

中川専務理事から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第6号議案 平成31年度以降のJATET事務局労務関係業務委託について

資料-7

平成31年度以降のJATET事務局労務関係業務委託について説明いたします。

現在、尾澤会計事務所に月額7万円（税別）（会計業務報酬5万円+労務関係業務報酬2万円）でお願いしているが、契約書の取り交わしを検討する中で、尾澤会計事務所より労務関係業務は専門ではないので社労士に委託して欲しいとの要望がありま

した。労務関係（給与計算、労働保険関係、算定基礎届作成等）の業務については、資料をご覧ください。

今年度については、従来通り尾澤会計事務所にお願いするが、来年度以降も尾澤会計事務所に引き続きお願いをするのか、労務士に頼むのか委託先を検討頂きたい。また、仮に労務士にお願いをするのであれば、執行理事で労務士を決定する方向で進めさせて頂きたい。

中川専務理事から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

追加審議事項

第7号議案 Inter BEE 2018 協力名義の使用許可お願いの件

追加資料

(一社) 日本エレクトロニクスショー協会から、Inter BEE 2018 協力名義の使用許可のお願い書面が来ている。本年度は11月14日～16日の3日間の開催である。例年のことでもあり、ご審議いただきたい。

中川専務理事から説明の後、審議に入り全員一致で可決承認された。

事務局より、Inter BEE 事務局に名義使用許可の連絡をお願いします。

5. その他

1) 第44回定例理事会（11月）、第45回定例理事会（2月）開催日程について

第44回定例理事会は平成30年11月30日（金）14時からとする。

第45回定例理事会は平成31年2月22日（金）14時からとする。

2) 閉会

16時00分 森会長が閉会を宣言して終了した。

平成 30 年 8 月 22 日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会
第 43 回定例理事会

役職

署名

捺印

議長（代表理事 森健輔）

森 健輔、



監事（尾澤輝行）

尾澤輝行



監事（間瀬勝一）

間瀬勝一



議事録作成署名人（西村岩夫）

西村 岩夫



第 44 回 定例理事会

議 事 錄 (正)

平成 30 年 11 月 30 日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会（JATET）

第44回 定例理事会 議事録（正）

日 時：平成30年11月30日（金）14:00～16:00

場 所：JATET会議室

東京都千代田区神田鍛冶町3-8-6 古川ビル TEL: 03-5289-8858

出席理事：森健輔会長、
西奈美博副会長（事業担当）、
荻野均副会長（財務担当）、
中川堅司専務理事（事務局統括、国内涉外担当）、
青野時彦（総務担当）、
小川幹雄（国際涉外担当）、
西村岩夫、伊東正示、鈴木伸一

欠席理事：嶋山征雄（コンプライアンス担当）、河瀬靖憲、長谷川祥久

出席監事：尾澤輝行、間瀬勝一

欠席顧問：高田一郎

事務局：中川堅司（事務局長）

有効理事総数 12名、出席理事 9名、欠席理事 3名

出席率 75% 監事2名、事務局（1名）、計11名

議事録署名人（書記）青野時彦

議事録要旨：定例理事会

定足数確認：有効理事総数 12名中、9名の出席、監事2名、事務局（1名）にて本理事会は定足数の過半数を確保し成立した。

議事次第

1. 議長選出

2. 議事録記録署名人選出

議事

3. 報告事項

1) 業務報告 森健輔会長

2) 事業報告 西奈美博副会長

資料-1

3)財務報告	荻野均副会長
4)総務報告	青野時彦理事
5)国際協力報告	小川幹雄理事
6)コンプライアンス報告	崎山征雄理事
7)規程改訂作業部会報告	中川堅司専務理事
8)事務局報告	中川堅司専務理事

4. 審議事項

第 1号議案	来年度のJATET誌（85号・86号）について（発行部数・予算・担当）	資料-2
第 2号議案	正会員A 三菱重工機械システム株式会社 二宮 昌三氏 機構部会退部の件	資料-3
第 3号議案	正会員A 三菱重工機械システム株式会社 三木 正智氏 機構部会入部の件	資料-4
第 4号議案	賛助会員A ヒビノ株式会社 小野 良行氏 音響部会入部の件	資料-5
第 5号議案	「講習会・講演会に関する講師派遣基準細則(案)」について	資料-6
第 6号議案	「謝礼支給規定(案)」について	資料-7
第 7号議案	「JATET-M-5090-1 舞台機構設備機器保守点検時における安全作業指針」 HP公開について	資料-8
第 8号議案	「JATET-M-6040-2 舞台機構設備の運用操作の注意事項」 HP公開について	資料-9
第 9号議案	2019年度総会開催及び総会日時場所の決定について	資料なし
第10号議案	2019年度以降のJATET事務局労務関係業務委託先について	資料なし
第11号議案	世界劇場会議国際フォーラム2019in可児 後援会名義使用許可について	資料-10
追加審議事項		
第12号議案	アジア劇場安全連盟年次会議報告について	資料-11

5. その他

- 1) 第46回定例理事会開催日程（4月）について
- 2) 閉会

1. 議長選出

定款第 42 条の規定により森健輔会長を議長に選出した。

2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成著名人の選出。出席理事の中から議長が青野時彦氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

3. 報告事項

1) 業務報告

森健輔会長（資料-議事録）

下記の通り、第 43 回定例理事会以降の業務報告がされた。

平成 30 年 9 月 13 日（木）14:00～ 第 28 回事業執行連絡委員会

平成 30 年 10 月 15 日（月）14:00～ 第 29 回事業執行連絡委員会

平成 30 年 11 月 16 日（金）14:00～ 第 30 回事業執行連絡委員会

2) 事業報告

西奈美博副会長（資料-1）

各部会の活動報告詳細については資料 1 及び閲覧資料で各部会議事録を参照。

教育研修部会では、8 月 31 日、10 月 1 日、10 月 30 日に部会を開催した。

JATET ジャーナル Vol.16 久留米シティプラザは、当初 9 月初旬の発行予定だったが、現在 3 名の方の原稿が未着のため、完成時期を確認中。

見学会について、札幌での地震の影響で中止となった札幌文化芸術劇場 hitaru は、札幌市芸術文化財団伊藤部長から JATET として見学会開催の要請があつたため現在日程等の調査中。川崎市 PFI 施設、IHI ステージについては、年度内に開催する方向で打診を進めている。

建築部会では、10 月 26 日に部会を開催した。

JATET 誌 84 号のテーマと来年度の技術展セミナーのテーマ「客席のリデザイン」について意見交換を行った。その他については前回の理事会から大きな動きはない。

機構部会では、9 月 20 日、10 月 17 日に部会を開催した。

規格について、JATET-M-5040-1「床機構安全指針・同解説」、JATET-M-6030-3「吊物機構安全指針・同解説」の増刷をした。

JATET-M-5090-1「舞台機構設備機器保守点検時における安全作業指針」及び JATET-M-6040-2「舞台機構設備の運用操作の注意事項」について改訂作業が終了した。
HP 公開に向け審議いただきたい。（審議事項）

昇降用引綱ロープ残存強度試験について、纖維ロープ引っ張り試験結果報告を行った。

調査報告について、北海道胆振東部地震被害調査、小規模施設の事故に関する調査報告をまとめた。北海道胆振東部地震被害調査は、被害状況調査依頼のあった経済産業省へ報告する予定。

照明部会では、D型 30A コネクターの規格化について、本年度中に作業を終了し、来年 2 月の理事会に審議事項として提出する予定。

LED 照明器具表示規格研究会で取りまとめた、フィルター関連 DMX レベル表公開について 12 月 3 日に JATET ホームページに公開する方向で進めている。

音響部会では、舞台連絡設備指針の改定について、今後、運用状況や必要な機能などについてアンケートをとることにし、使用者の意見を反映し改定を進める。

映像部会では、前回理事会以降大きな動きは無いため報告事項はなし。

広報部会では、9 月 10 日、11 月 5 日に部会を開催した。

JATET リーフレットのホームページ公開、英語版の作成については、今年度中を目処に進めている。

イ. JATET フォーラム 2018 について

前回の第 43 回定例理事会では、札幌文化芸術劇場 hitaru でフォーラムを開催する報告をしていたが、北海道胆振東部地震の影響で中止となった。

セミナー・懇親会の参加費は、全額返金の手続きを行い、残り 3 名については引き続き対応をしている。(1 名は社内手続きに時間がかかる旨の連絡があり、1 名は振込先の連絡待ち、残りの 1 名は何度も連絡しているが返信がない。)

ロ. JATET フォーラム 2018/19 について

資料-1、閲覧-事業報告資料より

平成 30 年 8 月 30 日（木）13:00～

第 6 回 JATET フォーラム 2018 実行委員会

平成 30 年 9 月 19 日（水）14:00～

第 1 回 JATET 技術展 2019 &

JATET フォーラム 2018/19 実行委員会

平成 30 年 9 月 28 日（金）15:00～

第 2 回 JATET 技術展 2019 &

JATET フォーラム 2018/19 実行委員会

平成 30 年 10 月 24 日（水）14:00～

第 3 回 JATET 技術展 2019 &

JATET フォーラム 2018/19 実行委員会

平成 30 年 11 月 19 日（月）14:00～

第 4 回 JATET 技術展 2019 &

JATET フォーラム 2018/19 実行委員会

を開催した。

JATET フォーラム 2018/19 のセミナーテーマは「最新の舞台技術の動向」とし 2019 年 2 月 1 日（金）、10:00～18:00、座・高円寺 2 で行われる。

セミナー参加費は、会員 4,320 円、非会員 6,480 円、学生 2,160 円で懇親会の予定はない。5 部会の中で、映像部会はセミナー内容が変更となったので、資料は別紙で配布予定。

既に申し込みを受けている。現在 32 名の申し込みがあるが、目標の 200 名までまだまだ足りない状況なので、皆さんからもお声掛けをお願いします。

札幌の舞台技術部長の伊藤氏には、来賓としてご招待する方向で打診している。

ハ. JATET 技術展 2019 について

詳細は配布している出展規定を参照。この出展規定は各企業に送付している。今回は、展示部門・セミナーデ部分を同会場で開催する。会場は新国立劇場 中劇場を利用させていただく。日程については 2019 年 8 月 29 日（木）仕込み、8 月 30 日（金）、8 月 31 日（土）が本番。

技術展の全体のテーマは、「演出空間における舞台技術の現状と展望」とする。

展示会は入場無料、セミナーは通し券が会員 5,400 円・会員外 8,640 円、1 日券は会員 4,320 円・会員外 6,480 円、学生は通し券のみで 2,160 円。

展示部門について、レイアウトは標準 30 小間、小型 4 小間の計 34 小間で決定し現在出展企業を募っている。展示部門参加受付を 11 月 19 日から開始しているが、現時点での出展申し込みは 1 社 1 小間の状況。関連会社等でまだ申し込みをされていないところにお声掛けをお願いします。

セミナーデ部分について、技術展全体テーマは、「演出空間における舞台技術の現状と展望」。各部会のセミナーテーマは今後決定していくが、建築部会から「客席空間の改修について」を掲げ進めていると報告を受けている。

共催・協力・後援団体には依頼書を提出予定。経済産業省と文化庁には今回も後援を依頼し、全 15 団体にお願いする。

懇親会は、8 月 30 日（金）に新国立劇場のレストラン「マエストロ」で開催予定。

理事の皆様にも参加していただきたい。

セミナー・懇親会の申込受付は、5 月中旬より開始予定。今後の予定として、2 月 28 日出展申込締切、3 月 1 日予備小間募集開始、3 月 12 日出展者説明会・小間割り抽選会、5 月技術展セミナー受付開始、出展者全体会議、8 月 29 日小間搬入及び技術展仕込み作業、8 月 30 日・31 日日本番、8 月 30 日技術展懇親会、9 月技術展報告会議

二. JATET 誌について

JATET 誌 84 号について、今号の特集テーマは「舞台演出の未来 “イマーシブ”」に決

定し、来年1月の発行に向け進めている。広告掲載については、最終的に20社からの申込があった。JATET誌85号・86号についてはのちほど審議をお願いする。(審議事項)

3)財務報告

荻野均副会長

閲覧資料ー財務報告を御覧ください。

毎月青野理事と総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしており、問題はありません。

2018年度の会費は、未納者に対して再請求書を8月下旬頃発行済みで、支払期限は本日までとなっている。現時点では正会員Cが1名、賛助会員Aが1社、賛助会員Bが4名未納で、再々請求書を発行する。

JATET誌83号広告掲載請求についても、本日が支払期限。現在21社中2社が未納。本日確認が出来ない場合、再度請求する。

4)総務報告

青野時彦理事

事務局関連及び請求書等の閲覧資料を御覧ください。

8月の理事会でご報告しております時給最低賃金について、10月1日に時給額985円に改正されましたので、10月分からアルバイトの賃金を改正しました。

5)国際協力報告

小川幹雄理事

資料-11を御覧ください。

アジア劇場安全連盟年次会議報告のまとめをいたします。ご承知のようにソウルで毎年行われている会議で、日本、韓国、シンガポール、台湾、中国の技術系の協会が参加しており、8月28日・29日韓国ソウルのTSCで行われた。日本・シンガポール・台湾が欠席し韓国と中国のみでの開催だった。

1. テーマは「劇場の安全に関するアジア基準の開発」で、次の事項を協議した。

ステップ1：各国基準の英語への翻訳とその共有（すでにあるもの）

ステップ2：各機関による各基準の研究と意見やコメントの交換

ステップ3：2019年の年次会議で特定の分野を選んで名称の草案を発表する

中国と韓国は英語に翻訳された各国基準を交換することに合意した。

(中国興業技術協会は、舞台における機械的な構造物の国家基準を翻訳する。)

(韓国劇場安全センターは、劇場技術及び安全に関する10の国家基準を翻訳する。)

日本（JATET）にも参加依頼があった。のちほど審議をお願い致します。(審議事項)

中国興業技術協会（CETA）と韓国劇場安全センター（TSC/KTL）は国家基準よりも産業基準を開発することに同意した。また韓国劇場安全センターは、韓国機械産業協同組合（KOMICO）と協力して韓国内で進めていく。

具体的にどのようなことを行うかについて草案を作成して 2019 年の年次会議で決定する。とりかかわりとして CETA と TSC/KTL は、舞台機構（高所と低所）・安全の項目に焦点を当てることに同意した。

2. 訓練と教育のプログラムの交流について、専門家が訓練と教育プログラムを行う時に各国が専門家を派遣して交流する場を持ちたい。中国では 8 月に Palm Expo が行われた。韓国では ITSS (KSC/KTL による国際劇場安全シンポジウム) が行われた。来年の 8 月の Palm Expo の前に 5 カ国でこの会議を行うことを呼びかけている。
日本 (JATET) にも参加を呼びかけている。
3. 共同研究プロジェクトについて、舞台機構に限定せずに、今後取り入れられるであろうロボットやドローンのような新しい技術に対しオープンに対応する。
4. 2019 年の年次会議は、8 月 21 日北京で行われる。22 日・23 日は Palm Expo が引き続き開催される。
5. CETA と TSC/KTL はこの連盟の正式名称を 2019 年の年次会議で選定する事に同意した。正式名称案は 3 つありその中で AESA (Asia Entertainment Safety Alliance に CETA と TSC/KTL が賛成していて、日本 (JATET) もこれに賛同するかのちほど審議をお願いします。(審議事項)
6. 韓国劇場安全センターは日本劇場空間技術協会 JATET により発行された最近の基準を中国に推薦したとあるが、どれを言っているのか不明。
ダウンロード可能のアドレス <www.jatet.or.jp/publish/> をあげているが、これは各部会があげている場所でまとめたものではない。
日本の「Guide book concerning safety operation of performing arts facilities」を中国に推薦したとあるが、これも不明。
基準協が出しているガイドラインかもしだれない。あとでやり取りをして確認する。
審議事項として、
 1. 日本の基準を各国と交換しても意見交換することは可能か
 2. 訓練と教育のプログラムの交流に関して専門家の派遣ができるか
 3. 正式名称の決定

この 3 点を加えていただきたい。

6) コンプライアンス報告

崎山理事欠席につき中川専務理事より期間中コンプライアンス上問題となる事項はない

との報告があった。

7) 規程改訂作業部会報告

中川堅司専務理事

「講習会・講演会に関する講師派遣基準細則（案）」と「謝礼支給規定（案）」を事業執行連絡委員会等で検討した。本日最終案として後ほど審議いただきたい。

承認を受けたものは、年度内にホームページにアップする作業を行いたい。（審議事項）

8) 事務局報告

中川堅司専務理事

イ. 内閣府情報

閲覧資料-内閣府情報

内閣府からの情報は、下記閲覧資料のとおり。

- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 53 号（平成 30 年 8 月 22 日発行）を閲覧
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 54 号（平成 30 年 9 月 5 日発行）を閲覧
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 55 号（平成 30 年 9 月 19 日発行）を閲覧
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 56 号（平成 30 年 10 月 3 日発行）を閲覧
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 57 号（平成 30 年 10 月 17 日発行）を閲覧
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 58 号（平成 30 年 10 月 31 日発行）を閲覧
- ・内閣府 公益法人メールマガジン臨時号（平成 30 年 11 月 13 日発行）を閲覧
- ・内閣府 公益法人メールマガジン臨時号（平成 30 年 11 月 15 日発行）を閲覧

臨時号では、当初 11 月 19 日から稼動予定としていた電子申請システムについて、12 月の早い時期にずれ込む旨の連絡があった。

公益社団法人及び公益財団法人に対する指導指針等に関する周知依頼があった。これは、国家公務員であったものが国と密接な関係がある密接公益法人の役員などとして再就職する際に、内閣総理大臣に届けることとされている件について密接公益法人への該当の有無について公表する必要がなくなるというので、当協会は国からの給付金もゼロで、国と密接な関係はないので該当しない。

ロ. 経済産業省情報&総務省等

中川堅司専務理事

閲覧資料-経済産業省&総務省等

経済産業省コンテンツ産業課より北海道胆振東部地震での被害状況調査依頼があった。機構部会からは既に報告はある。各部会の報告をまとめ経済産業省に報告予定。照明・音響については、大きな被害はうけていない模様。

「北海道胆振東部地震における節電について」の周知と協力要請があった。

平成 30 年度「自殺予防週間」における取り組みの要請があった。

働き方改革に関する周知以来（厚生労働省：労働時間法制の見直しについて を添付）の通達が届いた。また中小企業庁から、平成 30 年度経済産業省行政担当者研修の開催について、12 月 3 日に実施する旨の案内が届いた。

総務省からは特にありません。

ハ. JATET ニュース発行について

下記、4号を配信した。

- ・JATET ニュース第 200 号（平成 30 年 9 月 3 日配信）
- ・JATET ニュース臨時号（平成 30 年 9 月 6 日配信）
　　＜JATET フォーラム 2018 中止のお知らせ＞
- ・JATET ニュース第 201 号（平成 30 年 10 月 12 日配信）
　　＜JATET フォーラム 2018/19 申込受付開始。J83 号発行他＞
- ・JATET ニュース第 202 号（平成 30 年 11 月 13 日配信）
　　＜JATET 技術展出展募集、Inter BEE 開催案内他＞

二. 会員情報

中川堅司専務理事

閲覧資料-会員情報

正会員 A 三菱重工機械システム㈱ 二宮 昌三 氏 機構部会退部 (審議事項)

正会員 A 三菱重工機械システム㈱ 三木 正智 氏 機構部会入部 (審議事項)

正会員 A 三菱重工機械システム㈱ 登録情報変更

賛助会員 A ヒビノ㈱ 小野 良行 氏 音響部会入部 (審議事項)

賛助会員 A 日本コーパン㈱ 登録情報変更

賛助会員 A 白川舞台機構㈱ 登録情報変更

審議事項については、後程ご審議願います。

登録情報変更ではないが、賛助特別の座・高円寺の和田館長が退任され、後任として樽川館長が就任されたと連絡があった。

ホ. 諸団体情報

中川堅司専務理事

閲覧資料-諸団体情報

- ・ライティングフェア 2019 協賛名義使用承認について依頼書が届き、第 28 回事業執行連絡委員会で承認を受け承諾書を送付した。
- ・2019 年版経済産業ハンドブック編集に伴う名簿訂正の協力依頼が届き、適宜訂正し送付済み
- ・「日生劇場第 25 回舞台フォーラム 2018」の後援名義使用許可依頼書が届き、第 29 回事業執行連絡委員会で承認を受け連絡済
- ・レジャージャパン 2018(ILAJ2018)への後援名義依頼書が届き、第 29 回事業執行連絡委員会で承認をうけ、許可した。
- ・「全国劇場・音楽堂等職員アートマネージメント・舞台技術研修会 2019」開催について案内が届いた。

- ・世界劇場会議国際フォーラム 2019in 可児の後援名義使用許可依頼書が届いた。

後ほど審議をお願いします。

(審議事項)

ヘ. 書籍販売状況

中川堅司専務理事

閲覧資料-書籍販売状況

4月から10月末までの書籍の販売状況は、JATET-M-6030-3「吊物機構安全指針・同解説」、JATET-M-5040-1「床機構安全指針・同解説」、JATET-S-6010 : 2016「劇場等演出空間における音響設備動作特性の測定方法」、「Pro Audio Acoustics Technical CD」（プロオーディオ音響技術CD）などが購入され、合計24万2千円の売上となっている。

ト. 請求書情報

中川堅司専務理事

閲覧資料-請求書情報

7月以降の請求書情報（コピー・電話・基準協会費・JATET誌83号製作費・JATETフォーラムセミナー資料製作費等）を回覧した。

チ. HPについて

中川堅司専務理事

閲覧資料-ホームページ解析資料

HPは適時更新している。セキュリティの強化としてHPの暗号化($http \rightarrow https$)を取り入れた。

JATETホームページのアクセス解析(7月から10月)状況の資料を閲覧した。

9月のJATETフォーラムが中止になった際は飛びぬけてアクセスがあったが、おおむね300から400で推移している。

リ. 事務局関連

中川堅司専務理事

閲覧資料-事務局関連

- ・尾澤会計事務所との業務委託契約書のドラフトが届いた。
- ・前回の第43回定例理事会にて、会計業務はこれまで通り尾澤会計事務所にお願いをし、労務関係業務は労務士に依頼することで承認を受けている。労務士事務所の調査をし、2社と面談した。後ほどご審議いただきます。
- ・各部会・事務局への問い合わせが何件かあり、適宜回答している。
- ・9月13日㈱トータルオフィスパートナー（清水建設㈱情報資料センター内）からJATET誌83号の購読依頼があり、送料のみ負担いただき1部発送した。
- ・10月9日㈲前川建築設計事務所から10月24日に建築学会で開催する「東京文化会館見学会」にて、JATETジャーナル10号（東京文化会館特集）を抜粋して資料にして配布したいと申し入れがあった。会長・副会長に相談して「抜粋であることを資料に明記いただくこと」・「その旨を口頭で説明いただくこと」を条件に承諾した。

- ・10月26日(木)アイ・エス・エスより、舞台設備の構成や概算、対応年数についてわかる書籍等を取り扱っているかと問い合わせがあった。概算や対応年数については、各製品によって異なり、書籍としてまとまっているものは難しいが舞台設備の構成については、劇場等空間演出運用基準協議会取り扱いの「舞台技術の共通基礎」と全国ホール協会取り扱いの「全国ホール名鑑」の書籍を案内した。
- ・11月6日(木)三菱地所設計から、1988年当時の建物の大型シャンデリアに使用されているワイヤーロープが2.5mmの4本吊り(吊り加重=200kg)で施工されているが、現在のJATETの吊り物の規格には2.5mmワイヤーの記載がないので、当時の規格が知りたいと問い合わせがあった。機構部会長と相談し、現在2.5mmはJIS規格ではなく、1988年当時もなかつた。よって、吊物機構安全指針にも規定していない。あまり吊物機構では使用しないワイヤーロープのため、当時の施工業者に仕様を確認していただきたいと案内した。
- ・11月29日グローバル・バイス・アンド・ピー コミュニケーションから外務省の対ロシアOJPの研修事業に参加来日している中小企業経営者の中の劇場関係会社(劇場やスタジオのデザイン・特殊設備を製造する会社)の方からJATETとミーティングが出来ないかと問い合わせがあった。12月4日(火)14:00から事務局で対応する。企業経営について学びたいと言っているそうだが、JATETの紹介と、ロシアの劇場の様子が聞けたらと思っている。ご意見があつたら頂戴したい。

4. 審議事項

第1号議案 来年度のJATET誌85号・86号について

資料-2

JATET誌85号・86号の編集担当、編集テーマについてご審議ください。

まず、編集担当について、JATET誌85号(夏号)はJATET劇場演出空間技術展2019の特集号で、技術展展示企業の広告掲載、技術書を兼ねたく、持ち回り部会担当ではなく技術展実行委員会が担当とさせていただき、JATET誌86号(冬号)は、持ち回りで映像部会が担当となりますが宜しいでしょうか。

編集テーマについて、JATET誌85号の編集テーマ等は、技術展実行委員会で進めさせていただき、JATET誌86号のテーマ等は、映像部会が担当となった場合、部会で編集方針(案)を取りまとめ、理事会の場でご審議、承認をいただけるよう進めます。

中川専務理事から説明の後、JATET誌85号・86号の編集担当、編集テーマについて審に入り全員一致で可決承認された。

次に発行部数、予算書について説明致します。

JATET誌85号は、技術展特集となり、予算上の広告収入は120,000円×34社で計4,080,000円と見込んでいます。この広告収入に対し、印刷関連費用は160Pフルカラー印刷で、会場配布用に1,200部、会員・全公文加盟施設などへの送付用で1,800部、その他合計3,500部を作成して、編集料などの経費込みで4,000,000円ほどの支出を見込んで

おります。JATET 誌 86 号は、通常通りですが、予算上の広告収入としては、24 社から 4,890,000 円の収入を見込んでおり、印刷関連費用は、JATET 誌 84 号と同様に 2,500 部を作成して、経費込みで 3,500,000 万を見込んでいます。この内容で進めさせていただきたく承認をお願い致します。

中川専務理事の説明の後、JATET 誌 85 号・86 号の発行部数、予算書の審議に入り全員一致で可決承認された。

第 2 号議案 正会員 A 三菱重工機械システム㈱ 二宮 昌三 氏 機構部会退部について

資料-3

資料-3 をご覧ください。正会員 A 三菱重工機械システム㈱ 二宮 昌三 氏より機構部会退部届けが届いています。ご審議をお願いします。

中川専務理事の説明の後、正会員 A 三菱重工機械システム㈱ 二宮 昌三 氏の機構部会退部の審議に入り全員一致で可決承認された。

第 3 号議案 正会員 A 三菱重工機械システム㈱ 三木 正智 氏 機構部会入部について

資料-4

資料-4 をご覧ください。正会員 A 三菱重工機械システム㈱ 三木 正智 氏より機構部会入部届けが届いています。第 2 号議案で審議いただいた、二宮 昌三 氏の退部をうけて代わりに三木氏が入部となります。ご審議をお願い致します。

中川専務理事の説明の後、正会員 A 三菱重工機械システム㈱ 三木 正智 氏の機構部会入部の審議に入り全員一致で可決承認された。

第 4 号議案 賛助会員 A ヒビノ株式会社 小野 良行 氏 音響部会入部について

資料-5

資料-5 をご覧ください。賛助会員 A ヒビノ株式会社 小野 良行 氏より音響部会入部届けが届いています。以前から音響部会員でありましたが再登録が遅れた関係で今回承認いたくかたちになりました。内容をご確認いただきご審議をお願い致します。

中川専務理事の説明の後、賛助会員 A ヒビノ株式会社 小野 良行 氏の音響部会入部の審議に入り全員一致で可決承認された。

第 5 号議案 「講習会・講演会に関する講師派遣基準細則（案）」について 資料-6

資料-6 をご覧ください。講習会・講演会に関する講師派遣基準は以前からありましたが、実態と合わない部分を整理し、関連団体の主催する講習会・講演会に本会から講師を派遣する場合の細則を定めたものです。8月 8 日の第 27 回、10月 15 日の第 29 回事業執行連絡委員会で、確認・修正を行ったものをお配りしております。

講師派遣の要請について、主催者より会長宛に書面にて要件を発信してもらうことを

原則とし、本会の研究発表・規格又は指針をテーマとする講習会・講演会と、それ以外のものについて定めてあります。講師派遣の旅費・講演料、その他必要経費について、主催者側に講師派遣料を請求できない場合の講師謝礼・旅費交通費の支払いについても、理事会決議により可能とする旨を定めました。ご確認いただき、ご審議をお願い致します。

中川専務理事から説明のあと、以下議案に対する質疑応答及び意見が出された。

鈴木理事から「無料でお願いしたいという要請があった場合は、本会と主催者との関係を考慮の上とは」と質問され、中川専務理事が「理事会で審議するというかたちです。現実に、全公文の地方ごとの協議会がありますが、2年ほど前千葉県で行われた時に謝礼をいただくかどうか取り決めていなかった。書面で要請をいただくということは明確にしておくということです。全公文のアートマネージメント研修会での講師料は規定で決まっているようだが、地方の協議会は場合によっては支払ってもらえないこともある。その場合は理事会決議により、当協会から講師にお支払出来るようにするということが趣旨です。」と説明があった。

青野理事より「JATET刊行物の一部引用を必要とする場合は、講師の申し入れにより抜粋資料或いは要旨要点等のとりまとめ資料を別途作成し配布することができる。費用は実費とする。とあるが、その費用とは」と質問があり、中川専務理事は「コピー代が考えられる。」と説明があった。

質疑応答の後、「講習会・講演会に関する講師派遣基準細則（案）」の審議に入り全員一致で可決承認された。

第6号議案 「謝礼支給規定（案）」について

資料-7

資料-7をご覧ください。旧規程として「機関紙「JATET」謝礼内規」がありました、今の実態にそぐわないものになっており、これを見直し、フォーラムなどの講師への謝礼を含めた「謝礼支給規定」としてまとめた内容としています。

JATET 等機関紙関連の謝礼について、座談会又は会見を催した場合の謝礼、翻訳文を掲載する場合の謝礼、座談会又は会見のテープ起こしの謝礼については理事会の決議によりその金額を決定することとしています。ご確認のうえご審議お願い致します。

中川専務理事から説明のあと、以下議案に対する質疑応答及び意見が出された。

鈴木理事より「A4 1ページあたり 2,500 円支払うこととなっているが、原稿依頼時に A4 4 ページで依頼した場合、謝礼を出来上がりのページ数ではなく、依頼時のページ数で決めているのでしょうか。4 ページで依頼したとしても出来上がりが写真などにより 6 ページなど枚数を超ってしまうときがある。」と質問があり、中川専務理事より「出来上がりのページ数にあわせてお支払するが、通常は写真・図を含めたページ数で依頼している。少なくとも、多くなっても実際のページ数にあわせてお支払する。」と説明があった。

また、中川専務理事は「JATET ジャーナルの原稿料が同じ A4 1 ページで 1,500 円なのかは、不明。」と発言し、鈴木理事より「値上げすることもあるのか」と質問され、中川専務理事は「今後必要があれば統一することも含めて、規定の改定も考えていかなければならない。」と応答した。

また鈴木理事より「翻訳やテープ起こしの場合、見積もりをとるということは、謝礼金額を決めることにはあたらないのではないか。」と質問があり、森会長より「謝礼にはあたらないのではないか。」と発言があり「第 4 条の 4 項と 5 項を削ることにして審議をお願いしたい。」と提案があり、全員承諾した。

質疑応答の後、「謝礼支給規定（案）」の審議に入り、第 4 条第 4 項、第 5 項を削除した内容とすることで、全員一致で可決承認された。

第 7 号議案 「JATET-M-5090-1 舞台機構設備保守点検時における安全作業指針」

HP 公開について

資料-8

資料-8 をご覧ください。まず、機構部会より「JATET-M-5090-1 舞台機構設備機器保守点検時における安全指針」について、ホームページ公開についての内容をご確認の上、審議をお願いいたします。

中川専務理事の説明の後、「JATET-M-5090-1 舞台機構設備機器保守点検時における安全指針」のホームページ公開の審議に入り全員一致で可決承認された。

第 8 号議案 「JATET-M-6040-2 舞台機構設備の運転操作の注意事項」 HP 公開について

資料-9

資料-9 をご覧ください。機構部会より「舞台機構設備の取扱説明書の内、PL にかかわる事項」の改訂として「JATET-M-6040-2 舞台機構設備の運転操作の注意事項」として作成されました。特に PL マーク関係のことを警示しながら、わかりやすく運用作業上の注意事項をまとめたので、ホームページに公開することを審議していただきたいと申し出です。

中川専務理事の説明の後、「JATET-M-6040-2 舞台機構設備の運転操作の注意事項」のホームページ公開の審議に入り全員一致で可決承認された。

第 9 号議案 2019 年度総会開催及び総会日時場所の決定について

資料なし

定款第 16 条の定めにより、「通常社員総会は、毎年 1 年毎事業年度終了後 3箇月以内に開催する。」とあり、また定款 16 条と同内容が、社員総会運営規則第 3 条（開催）に定められています。まず、例年のごとく 5 月の開催についてのご審議をお願い致します。

開催が決定となった場合、総会の名称もご審議お願い致します。これまで総会の名称を和暦で開催しており、この流れで行くと「新元号 1 年通常総会」となります。しかし、新元号の発表時期が来年 4 月か 5 月とされており、通常総会議案書の作成を考慮すると、事務局としましては「2019 年度通常総会」とさせていただきたいと思います。開催と名称

のご審議をお願い致します。

中川専務理事の説明の後、総会の開催と総会の名称「2019年度通常総会」の審議に入り全員一致で可決承認された。

次に総会の日時場所のご審議をお願い致します。

総会の場所ですが、例年のホテルローズガーデン新宿に打診をしております。候補日は5月23日（木）、5月24日（金）、5月28日（火）、5月29日（水）が利用可能です。開催時間は、来年度は選挙がないので14:00からでいいかがでしょうか。次回総会の場所と日時のご審議をお願い致します。

中川専務理事の説明のあと、森会長から5月28日・29日を候補日としてはどうかと提案があった後、開催場所ホテルローズガーデン新宿と日時の審議に入り全員一致で可決承認された。

続いて、例年懇親会を行っておりますが、来年も懇親会を行うかご審議をお願い致します。以前、懇親会費用は協会持ちで行っておりましたが、前々回から懇親会は有料化しており、3,000円（税抜き）で設定しております。懇親会を開催するか、また開催する場合、有料にするかご審議いただきたいと思います。

中川専務理事から説明のあと、懇親会の開催と料金は従来通り有料で行うことの審議に入り全員一致で可決承認された。

西村理事より、あらためて候補日を1日にしてはどうかと発言があり、審議の結果5月29日に開催することを全員一致で可決承認された。

第10号議案 2019年度以降のJATET事務局労務関係業務委託先について 資料なし

平成31年度（2019年度）以降のJATET事務局労務関係業務委託については、第43回定期理事会でご審議いただき、外部の労務士に委託する方向で承認されています。

2019年度以降の労務関係（給与計算、労働保険関係、算定基礎届作成等）の作業について労務士に依頼をするべく、2名の方と面談を行いました。1名は、かんの社会保険労務士事務所の菅野慎一郎氏で、勤務地は秋葉原、月々15,000円（税抜き）、就業規則見直し、助成金の申請については別途費用にて対応可能。もう1名は、社会保険労務士古山事務所の古山茂氏で、勤務地は新宿、月々13,000円（税抜き）（基本10,000円、給与計算1名1,000円、年末調整別途10,000円）。従来、尾澤会計事務所に労務関係業務報酬としてお願いしていた分が20,000円でしたので事務局としては、できればこの範囲で収めたいと考えています。事務局としては、菅野氏が積極的に説明にも好印象をもちましたので、かんの社会保険労務士事務所を推薦させていただきたいと思います。ご審議をお願い致します。

中川専務理事の説明のあと、尾澤監事から「この事務局は違うが、職員の入れ替わりの多いところは、脱退の手続き・加入の手続きが必要で、12月の年末調整が別途の事務所よ

り、毎月の料金にインクルーズされている事務所のほうが良いのではないか。就業規則作成などを要望し、別途請求する事務所もある。このような事務所もAIを活用して単価が安くなっていく。」との意見があった。

この後、2019年度以降のJATET事務局労務関係業務委託先はかんの社会保険労務士事務所に委託する件につき審議に入り全員一致で可決承認された。

第11号議案 世界劇場会議国際フォーラム 2019in可児 後援名義使用許可について

資料-10

資料-10をご覧ください。世界劇場会議名古屋から、来年2月8日・9日に開催予定の「世界劇場会議国際フォーラム 2019in可児」の後援名義使用許可について申請書が届いております。開催タイトルは「劇場は社会に何ができるか、社会は劇場に何をもとめているかIV」主催は、(公財)可児市文化芸術振興財団・特定非営利活動法人世界劇場会議名古屋、会場は、岐阜県可児市文化創造センターala 小劇場(虹のホール)。例年、後援名義使用許可の申請を受けて、使用許可を出しております。ご審議をお願い致します。

中川専務理事の説明の後、「世界劇場会議国際フォーラム 2019in可児」の後援名義使用許可の審議に入り全員一致で可決承認された。

追加審議事項

第11号議案 アジア劇場安全連盟よりの問い合わせについて

資料-11

小川理事より、国際協力報告で提出されたアジア劇場安全連盟関連での追加審議事項が説明された。

資料-11をご覧ください。中国・韓国が行う安全基準を英訳して交換するというに、JATETの基準も参加して欲しいという提案ですが、国際涉外担当としては、既に公開されているものは宜しいのではないかと思います。韓国が推薦している不明な基準はあらためて問い合わせをする。またシンガポール・台湾の参加も図って欲しいとの要望は出す。という内容でご審議をお願い致します。

西村理事より「どのくらいの期間でやらなければならないのか。」と質問があり小川理事より「不明である。しかし1年に1回の会議であるし、さまざまな問題に取り組まなければならないので時間がかかるであろう。」と述べられた。この後、JATETとしてこの会議に積極的に参加していくことについて審議に入り全員一致で可決承認された。

次に、訓練・トレーニング・教育プログラムなど各機関(国)が行うイベントに際して専門家を他機関(国)に派遣しあう人材交流を行っていきたいとの申し入れがあります。この件に関しては、経費・財政の問題が出てきます。JATETが、費用を負担して招聘することは困難だと考える。JATETは国の機関ではないので難しいと伝える。ケースバイケー

スで参加することを伝えたい。五カ国が柔軟な立場で参加することを提案しようと考えている。この件についてご審議をお願い致します。人の交流について出来る範囲・ケースバイケースで対応することについて審議に入り、全員一致で可決承認された。

次に、連盟の正式名称として

1. SATA (Safety Alliance of Theatre in Asia)
2. APVSA (Asia Performing Venues Safety Alliance)
3. AESA (Asia Entertainment Safety Alliance) の 3 つが提案されていて、中国と韓国は 3 を推薦している。日本も同意して宜しいでしょうか。ご審議をお願い致します。
正式名称 AESA (Asia Entertainment Safety Alliance) に同意することについて審議に入り、全員一致で可決承認された。

5. その他

1) 第 46 回定例理事会（4 月）の開催日程について

第 46 回定例理事会は平成 31 年 4 月 23 日（火）14 時からとする。

2) 閉会

16 時 10 分 森会長が閉会を宣言して終了した。

平成 30 年 11 月 30 日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会
第 44 回定例理事会

役職

署名

捺印

議長（代表理事 森健輔）

森 健輔



監事（尾澤輝行）

尾澤 輝行



監事（間瀬勝一）

間瀬 勝一



議事録作成署名人（青野時彦）

青野 時彦



第45回 定例理事会

議 事 錄 (正)

平成31年2月22日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会（JATET）

第45回 定例理事会 議事録（正）

日 時：平成31年2月22日（金）14:00～16:05

場 所：JATET会議室
東京都千代田区神田鍛冶町3-8-6古川ビル TEL: 03-5289-8858

出席理事：森健輔会長、
西奈美博副会長（事業担当）、
荻野均副会長（財務担当）、
中川堅司専務理事（事務局統括、国内涉外担当）、
青野時彦（総務担当）、
河瀬靖憲、西村岩夫、長谷川祥久、鈴木伸一

欠席理事：崎山征雄（コンプライアンス担当）、小川幹雄（国際涉外担当）、伊東正示

出席監事：尾澤輝行、間瀬勝一

欠席顧問：高田一郎

事務局：中川堅司（事務局長）

有効理事総数 12名、出席理事 9名、欠席理事 3名

出席率 75% 監事2名、事務局（1名）、計11名

議事録署名人（書記）鈴木伸一

議事録要旨：定例理事会

定足数確認：有効理事総数 12名中、9名の出席、監事2名、事務局（1名）にて本理事会は定足数の過半数を確保し成立した。

議事次第

1. 議長選出

2. 議事録記録署名人選出

議事

3. 報告事項

1) 業務報告	森健輔会長	
2) 事業報告	西奈美博副会長	資料-1
3) 財務報告	荻野均副会長	
4) 総務報告	青野時彦理事	
5) 国際協力報告	中川堅司専務理事（代理）	
6) コンプライアンス報告	中川堅司専務理事（代理）	
7) 規程改訂作業部会報告	中川堅司専務理事	
8) 事務局報告	中川堅司専務理事	

4. 審議事項

第1号議案 2019年度事業計画の件	資料-2
第2号議案 2019年度事業予算の件	資料-3

第 3 号議案	総会時の出席しない社員の書面による議決権行使について	
第 4 号議案	2019 年度資金運用計画について	資料-4
第 5 号議案	東芝エルティーエンジニアリング株式会社 正会員 A 退会について	資料-5
第 6 号議案	賛助会員 A 東芝ライテック株式会社 会員種変更 (賛助会員 A→正会員 A) について	資料-6
第 7 号議案	正会員 A カヤバシステムマシナリー株式会社 会員種変更 (正会員 A→賛助会員 A) について	資料-7
第 8 号議案	正会員 C 森 幹雄氏退会について	資料-8
第 9 号議案	賛助会員 B 稲垣 雅弘氏退会について	資料-9
第 10 号議案	正会員 A 森平舞台機構株式会社 伊藤 淑恵氏建築部会退部について	資料-10
第 11 号議案	正会員 A 森平舞台機構株式会社 阿部みゆき氏建築部会退部について	資料-11
第 12 号議案	正会員 A カヤバシステムマシナリー株式会社 山田芳久氏 機構部会退部について	資料-12
第 13 号議案	正会員 A カヤバシステムマシナリー株式会社 岡村和徳氏 機構部会退部について	資料-13
第 14 号議案	正会員 A カヤバシステムマシナリー株式会社 鈴木慎也氏 機構部会退部について	資料-14
第 15 号議案	賛助会員 B 森本雅記氏 音響部会退部について	資料-15
第 16 号議案	「JATET-L-19310 演出空間専用差し込み接続器 D 型 30A 規格」について	資料-照明部会
第 17 号議案	「引綱ロープの引っ張り強度試験結果及び廃棄基準」HP 公開について	資料-機構部会

その他

- 1) 第 46 回定例理事会開催日程（4 月）について
- 2) 閉会

1. 議長選出

定款第 42 条の規定により森健輔会長を議長に選出した。

2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成著名人の選出。出席理事の中から議長が鈴木伸一氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

3. 報告事項

1) 業務報告

森健輔会長（資料-議事録）

下記の通り、第 44 回定例理事会以降の業務報告がされた。

平成 30 年 12 月 18 日（火）14:00～ 第 31 回事業執行連絡委員会

平成 31 年 1 月 18 日（金）15:00～ 第 32 回事業執行連絡委員会

平成 31 年 2 月 8 日（金）15:30～ 第 33 回事業執行連絡委員会

2) 事業報告

西奈美博副会長（資料-1）

各部会の活動と次年度計画について

報告詳細については資料 1 及び閲覧資料で各部会議事録を参照のこと。

教育研修部会では、11 月 27 日、12 月 19 日、1 月 29 日に部会を開催した。

・JATET ジャーナル Vol. 16 久留米シティプラザは、当初 9 月初旬の発行予定だったが、現在 2 名の方の原稿が未着のため、引き続き完成時期を確認中。2 月中に原稿の提出をいただけないようであれば、現時点で既に原稿を提出いただいている会館、施工業者の原稿のみで年度内に発行予定。

・JATET フォーラム 2018/19 では、受付、会場案内を担当した。

〈次年度計画〉

・施設、改修された劇場、施設に対し、施設見学会を年 3 回を目標に開催する。

・施設見学会候補施設は、「堺市芸術文化ホール」「札幌文化芸術劇場」「日本青年館ホール」「高崎芸術劇場」を予定している。

・見学会が開催された劇場、施設を JATET ジャーナルで紹介し、最新の劇場技術、リニューアルの実例等を全国に無料にて提供する。

・見学会の開催が難しい遠方の施設を JATET ジャーナルで紹介していく。

・前年度同様、スタジオ、仮設劇場、制作場など劇場施設以外の新たな見学先を模索する。

建築・設備の見学だけでなく、一般には公開されない施設を見学することで、設計事務所やゼネコンの方達の新たな設計、施工への発想を促し、新しい劇場、演出空間の建設に役立てていく。

建築部会では、1 月 22 日に部会を開催した。

・平成 30 年度に実施した「劇場・ホールの可変」は、可変の中でも多目的ホールに備わる音響反射板に関する調査研究を実施し、その成果を JATET フォーラム 2018/19 において発表した。

・2019 年 2 月より、高さ 6.75m 以上でフルハーネスの着用が義務付けられ、作業を行う場合は、特別教育の対象となるため、JATET としても注視していく。

・働き方改革により、部会開始時間を今回 2 月から試験的に 17:30～スタートとする。

〈次年度計画〉

・「劇場・ホールにおける可変」について、プロセニアム周辺の可変等、他の可変種別にテーマを移し調査研究をしていく。

・「客席のリ・デザイン」について、昨今、改修を実施する劇場・ホールが多くなっているが、その中で客席空間の改修を実施した事例を調査していく。

単に客席椅子を更新したと言った事例ではなく、客席空間ボリュームや客席構成の変更、客席空間意匠の変更等の事例を中心に実施していく。

- ・「劇場・ホールの系譜」について、わが国における劇場・ホールの系譜は平成21年度を中心建築部会で取りまとめを行なったが、それに対する継続調査として、前回調査以後についてもデータを補充し、前回の調査研究では実施していない演劇劇場の系譜について新たに作成していく。

機構部会では、11月21日、12月19日、1月23日に部会を開催した。

- ・「JATET-M-5090-1 舞台機器設備機器保守点検時における安全作業指針」「JATET-M-6040-1 舞台機器設備の運用操作の注意事項」は、ホームページで公開した。
- ・「小規模施設事故研究会」について、事故に関する調査報告書は取りまとめて分析も終了しており、ホームページで公開した。
- ・「引綱ロープの引っ張り強度試験結果及び廃棄基準」のホームページ公開については後ほどご審議をいただきます。

〈次年度計画〉

- ・ワイヤロープの劣化に関する調査・研究を行なっていく。
- ・指針、ガイドライン等の解説を JATET 誌、JATET ジャーナル等に掲載するとともにホームページ上で公開していく。
- ・JATET の事業において機構分野の分担・協力をしていく。

照明部会では

- ・「JATET-L-19210 演出空間専用差込接続器 D型 30A 規格」について、後ほどご審議をいただきます。

〈次年度計画〉

- ・舞台照明設備の電源系設計について、運用上の課題や将来性などから、今後の改修や新築における照明電源の考え方を主体に検討し、来年度も持込み機器用電源盤の調査を引き続き行い、今後の劇場・ホールの持込み対応について検討を行なっていく。また、調査、研究の経過に応じて、施設、設備の見学会開催も検討していく。

- ・明るさや、照射エリアについての考え方の統一とともに、フィールド角やビーム角などの特殊な用語について定義を行い、ユーザーが照明器具を選択するときの情報をわかりやすく統一できるよう検討を進めていく。

- ・JATET 安全手帳作成に関して、照明部会として演出照明設備に関する安全注意事項を取りまとめていく。

- ・JATET 誌の発行に関して、照明部会としてテーマの設定及び編集に協力していく。

- ・JATET 技術展 2019 開催にあたって、照明部会としてセミナー等で参加、協力していく。

- ・演出照明器材、機器の劇場、ホールへの持込み増加、多様化している状況で現状の持込機器用電源盤の調査を行うと共に『照明用持込機器用電源盤の規格』の具体的な設計基準を規格化の検討をしていく。特に持込機器電源盤に関しては、他の部会との横断的な検討が必要と考えている。

音響部会では、10月19日、12月21日に部会を開催した。

〈次年度計画〉

- ・電源供給の効率化および音響機器の高音質化のため、電力消費の大きいパワーアンプ等の電源電圧を 200V とする取り組みが進められており、電源電圧 200V 化に向け安全に運用するための給電方法、コネクタ選定および音響機器側の対応について調査研究していく。

- ・劇場等演出空間施設の音響設備について、劣化診断を行うことで適正な更新時期を判定するためのプログラムに関する調査研究を実施していく。

- ・オーディオネットワークの最新動向を継続的に収集と今後のネットワークインフラのあり

方について調査研究していく。

- ・舞台連絡設備指針改定に向けた調査研究として、今年度は実際の設置状況、運用状況および今後連絡設備に求められる事項等について劇場・ホールを対象としたアンケート調査を行い現状分析していく。

映像部会では、11月9日、12月14日に部会を開催した。

- ・前回の理事会から特に大きな動きはない。

〈次年度計画〉

- ・月1回の部会及び研究会の開催を目標にし、関連情報の収集および会員への情報発信、相互連携に注力することを目標に映像部会研究会を開催すると共に、以下の研究テーマを中心に最新動向の研究調査を実施していく。
- ・「劇場間ネットワークとクラウドによる運営・制作・発信の可能性」を研究テーマとして、JATET技術展セミナーへの取り組みを中心とした調査研究をしていく。
- ・外部講師による研究会を開催し、最新情報の取得および取り組むべき課題を議論、映像部会から広く情報発信を目指していく。

広報部会では

- ・JATETフォーラム2018/19では、アンケートを実施した。今後取りまとめていく予定。

〈次年度計画〉

- ・JATETの持つ多くの劇場演出空間についての情報や人的資源を、広く社会のために資するための広報活動を展開し、社会のニーズを調査し、JATETとその活動範囲の拡大と活性化を図っていく。また、必要に応じてJATETリーフレットの改訂、英語版を作成、WEB上で公開を行なっていく。

- ・JATET主催行事の企画・運営に協力していく。

イ. JATETフォーラム2018/19 & JATET技術展2019について

資料-1、閲覧-事業報告資料

- ・平成30年12月19日（水）13:00～

第5回JATET技術展2019&JATETフォーラム2018/19実行委員会

- ・平成31年1月25日（金）14:00～

第6回JATET技術展2019&JATETフォーラム2018/19実行委員会

JATETフォーラム2018/19報告

1日で5部会のセミナーを開催し、約150名の参加となり、盛況に終了した。

（内、会員124名、会員扱い21名、会員外が7名）

JATET技術展2019について

- ・展示部門について

展示部門参加受付を11月19日から開始しており、現時点で出展申込済みは9社10小間の状況。理事の皆様には関連会社等でまだ申込をされていないところにぜひ声掛けをお願いいたします。

- ・セミナー部門について

技術展全体テーマ：「演出空間における舞台技術の現状と展望」とする各部会のセミナーテーマがほぼ決定した。

建築部会・・・[客席空間のリデザイン]

機構部会・・・「舞台機構操作卓・制御方式の現状（仮）」

照明部会・・・「劇場・ホールへの持込み器材、機器の現状と今後の対応（仮）」

音響部会・・・「イマーシブサウンドの音響システムについて（仮）」

映像部会・・・「劇場間ネットワークとクラウドによる運営・制作・発信の可能性」

- ・共済・協力・後援団体 13 団体に加え、2月上旬に経済産業省と文化庁に後援依頼書面を提出した。
 - ・2月6日～8日に開催された全公文アートマネジメント研修会に向けて、技術展告知案内を発送した。
 - ・セミナー、懇親会の申込受付は、5月中旬頃より開始予定。
 - ・1月末に出展申込スケジュール変更と出展者説明会延期のお知らせを通知した。
- 当初、出展申込期限を2019年2月28日末、出展小間料の払い込み期限を2019年3月25日までとしていたが3月末決算の企業に配慮し、実行委員会で検討した結果、出展申込期限を2019年3月29日に変更、出展小間料の払い込み期限を2019年5月31日に変更した。この変更に伴い、2019年3月12日に予定していた「出展説明会及び小間割り抽選会」も5月中旬に延期となる。

今後の予定として

- 3月29日・・・出展申込締切
- 4月1日・・・予備小間募集開始
- 5月・・・・・・技術展セミナー受付開始
- 5月中旬・・・出展者説明会・小間割り抽選会
- 8月・・・・・・出展者全体会議
- 8月29日・・・小間搬入及び技術展仕込み作業
- 8月30日～31日・・・JATET 劇場演出空間技術展 2019 (セミナー及び展示)
- 8月30日・・・技術展懇親会
- 9月・・・・・・技術展報告会議

□. JATET 誌について

JATET 誌 84 号は、1月末に発行済み。

ハ. 持込機材用電源に関する作業部会について

今年度の事業計画の中で「持込用仮設電源に関する調査研究」があり、部会を横断した作業部会で検討することとなっていたが、何をどう調べて結論を出すのかなどの最終点が見えていないので年度内に作業部会として部会長を集めて方向性を議論する予定である。

ニ. JATET 安全手帳について

今年度の事業として「JATET 安全手帳の作成と普及」の計画があるが来年度も引き続きのテーマとして、安全手帳の作成に取り組む予定である。

3)財務報告

荻野均副会長 (閲覧資料一財務報告)

- 毎月青野理事と総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしており、問題はない。
- ・2018年度の会費は、未納者に対して再々請求書を12月上旬頃発行済みで支払い期限は2月8日までとなっていた。賛助会員2名が未納となっている。
 - ・JATET 誌 84 号広告掲載請求書については、発行済みで3月22日までの支払い期限となっている。

4)総務報告

青野時彦理事

花田事務局員が3月末で退職予定である。現在、ハローワークに求人掲載依頼をしており、既に数名からの問い合わせがきている。近々5名を選び面接の予定である。

- 5)国際協力報告 代理：中川堅司専務理事（閲覧資料・国際協力報告）
小川理事欠席につき中川専務理事より、閲覧資料を元に報告があった。
劇場用語集「シアターワーズ」が欲しいという要望があったが、現在書籍として販売されていないので OISTAT に再販要望を出す方向で検討している。OISTAT では、舞台芸術関係のエキシビションが6月6日から16日までプラハで開催される。4月3日に日比谷図書文化館にてOISTATのトークショーが開催される。新入社員の入社時期でもあり、分かりやすい内容を考えているので、是非参加を検討いただきたい。
- 6)コンプライアンス報告 代理：中川堅司専務理事
崎山理事欠席につき中川専務理事より期間中コンプライアンス上問題となる事項はないとの報告があった。
- 7)規程改訂作業部会報告 中川堅司専務理事
前回第44回定例理事会までに、規程、基準の改定はほぼ完了しており、現在残っているものは「JATET 出版物頒布価格設定基準」と「劇場演出空間照明器具・機材標識表示基準」の2つとなっている。両基準については、4月の理事会で審議いただけるように現在検討中である。
- 8)事務局報告 中川堅司専務理事
イ. 内閣府情報 閲覧資料-内閣府情報
内閣府からの情報は、下記閲覧資料のとおり。
 - ・内閣府 公益法人メールマガジン第59号（平成30年11月28日発行）を閲覧
 - ・内閣府 公益法人メールマガジン第60号（平成30年12月12日発行）を閲覧
 - ・内閣府 公益法人メールマガジン臨時号（平成30年12月18日発行）を閲覧
 - ・内閣府 公益法人メールマガジン臨時号（平成30年12月20日発行）を閲覧
 - ・内閣府 公益法人メールマガジン臨時号（平成30年12月21日発行）を閲覧
 - ・内閣府 公益法人メールマガジン臨時号（平成30年12月25日発行）を閲覧
 - ・内閣府 公益法人メールマガジン第61号（平成30年12月26日発行）を閲覧
 - ・内閣府 公益法人メールマガジン第62号（平成31年1月9日発行）を閲覧
 - ・内閣府 公益法人メールマガジン第63号（平成31年1月23日発行）を閲覧
 - ・内閣府 公益法人メールマガジン第64号（平成31年2月6日発行）を閲覧
 - ・内閣府 公益法人メールマガジン第65号（平成31年2月20日発行）を閲覧臨時号では、当初11/19から稼働予定としていた新たな電子申請システムについて、12月にずれ込む旨の連絡があった。
- ロ. 経済産業省情報&総務省等 中川堅司専務理事
閲覧資料-経済産業省&総務省等
経済産業省コンテンツ産業課より
 - ・「消費税率の引上げに伴う価格設定について」の広報・周知等への協力要請
 - ・「改元に伴う情報システム改修等への対応について」アンケートの協力要請の通達が来ている。「改元に伴う情報システム改修等への対応について」は、正会員A、正会員B会員の法人を対象に対応状況に関するアンケート調査を依頼し、3社から回答があり経済産業省に報告した。
総務省からは特に情報なし。
- ハ. JATET ニュース発行について
・JATET ニュース第203号 (平成30年12月17日配信)

- ・ JATET ニュース第 204 号 (平成 31 年 1 月 15 日配信)
- ・ JATET ニュース第 205 号 (平成 31 年 2 月中配信予定)

- 二. 会員情報
- 中川堅司専務理事
閲覧資料-会員情報
- ・ 正会員 A 東芝エルティーエンジニアリング株式会社 退会 (審議事項)
 - ・ 正会員 A カヤバシステムマシナリー株式会社 会員種変更 (正会員 A→賛助会員 A) (審議事項)
 - ・ 正会員 A カヤバシステムマシナリー株式会社 登録内容変更
 - ・ 正会員 A パナソニック株式会社エコソリューションズ社 登録内容変更
 - ・ 正会員 A 森平舞台機構株式会社 伊藤 淑恵氏 建築部会退部 (審議事項)
 - ・ 正会員 A 森平舞台機構株式会社 阿部みゆき氏 建築部会退部 (審議事項)
 - ・ 正会員 A カヤバシステムマシナリー株式会社 山田 芳久氏 機構部会退部 (審議事項)
 - ・ 正会員 A カヤバシステムマシナリー株式会社 岡村 和徳氏 機構部会退部 (審議事項)
 - ・ 正会員 A カヤバシステムマシナリー株式会社 鈴木 慎也氏 機構部会退部 (審議事項)
 - ・ 正会員 C 森 幹雄氏退会 (審議事項)
 - ・ 賛助会員 A 東芝ライテック株式会社 会員種変更 (賛助会員 A→正会員 A) (審議事項)
 - ・ 賛助会員 A ヒビノ株式会社 登録内容変更
 - ・ 賛助会員 B 稲垣 雅弘氏退会 (審議事項)
 - ・ 賛助会員 B 森本 雅記氏 音響部会退部 (審議事項)
- 後ほど審議をお願いします。

- ホ. 諸団体情報
- 中川堅司専務理事
閲覧資料-諸団体情報
- ・ 舞台技術者連合「舞台技術者のための横断的総合研修『上級』開催」について案内が届いた。
 - ・ 兵庫県立芸術文化センター「第 13 回舞台技術セミナー」開催について案内が届いた。
 - ・ 「舞台美術展 JATDT60」「第 46 回伊藤薰賞展」後援名義使用許可依頼書が届いた。2 月 8 日まで回答する必要があったので、森会長から使用許可を出したが、後ほど理事会として確認をお願いします。

- ヘ. 書籍販売状況
- 中川堅司専務理事
閲覧資料-書籍販売状況
- 1月末までの売上は 32 万 2 千円、書籍の販売状況は、JATET-M-6030-3 「吊物機構安全指針・同解説」 26 部、「劇場等演出空間における音響設備動作特性の測定方法」 11 部、「Pro Audio Acoustics Technical CD」(プロオーディオ音響技術 CD) 10 枚など販売。

- ト. 請求書情報
- 中川堅司専務理事
閲覧資料-請求書情報
- JATET 誌 84 号の編集費、印刷費、配送費の支出があった、その他は通常の支出。

- チ. HP について
- 中川堅司専務理事
閲覧資料-ホームページ解析資料
- JATET ホームページのアクセス解析状況の資料を閲覧した。12 月、1 月のアクセス数は 3200 程度

リ、事務局関連

中川堅司専務理事

閲覧資料-事務局関連

- ・今年度末までに尾澤会計事務所とかんの社会保険労務士事務所の業務委託契約書を取り交わすためにフォーマットを検討している。
- ・ABTT（演出空間施設のための技術基準）の翻訳を建築部会の西氏に依頼し、一部外注も使いながら作業中。
- ・各部会・事務局への問い合わせが何件かあり、適宜回答している。

4. 審議事項

第1号議案 2019年度事業計画について

資料-2

資料2、2019年度 事業計画書に基づき中川事務局長から説明があった。

主要な点は、

総会を2019年5月29日（水）ホテルローズガーデン新宿にて行う

部会事業計画としては、教育研修部会で、昨年度より持ち越しになった札幌文化芸術劇場見学会の実施、他に日本青年館、高崎芸術劇場などを計画する。

JATET技術展を2019年8月30、31日に新国立劇場中劇場で実施

部会横断的なテーマとして、JATET 安全手帳の作成と普及を進める。また、舞台設備に使用する持ち込み用仮設電源に関する調査研究を継続して進める。

中川専務理事の説明の後、事業計画書案の審議に入り全員一致で可決承認された。

第2号議案 2019年度事業予算について

資料-3

資料3、2019年度收支予算書に基づき中川事務局長から説明があった。

主な点は、

公益目的事業として、JATET 技術展セミナー開催収益 3,000,000 円、JATET 技術展展示会開催収益 7,500,000 円を計上。JATET 誌販売については、公益事業化を目指し無料化している。入会金、会費収入を含めた経常収益の合計は 36,165,000 円、事業費+管理費として経常費用の合計は 38,392,000 円を計画しており、当期一般正味財産増減額はマイナス 2,227,000 円となる見込み。

中川専務理事の説明の後、2019 年度事業予算案の審議に入り、全員一致で可決承認された。

第3号議案 総会時の出席しない社員の書面による議決権行使について (資料なし)

中川事務局長から以下の説明があった。

定款では、

『第21条 社員総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について書面または電磁的記録により表決し、又は代理人によってその議決権を行使することができる。

2 前項の代理人は、代理権を証する書面を会議ごとに提出しなければならない。

3 第1項の場合における前2項の規定の適用については、その社員は出席したものとみなす。

4 社員総会に出席しない社員が書面によって議決権行使できることとするときは、理事会の決議によらなければならない』

とありますので、本理事会で承認をお願いいたします。

中川専務理事の説明の後、総会時の出席しない社員の書面による議決権行使について審議に入り全員一致で可決承認された。

第4号議案 2019年度資金運用計画について

資料-4

資料-4、2019年度資金運用方針書（案）に基づき、荻野副会長より説明があった。

主な点は、

運用収益を積極的に求める運用は行わず、日々の入出金の確実な管理と資金の保全に重点をおいた資金運用とする。

荻野副会長の説明の後、2019年度資金運用計画について審議に入り全員一致で可決承認された。

次に荻野副会長から、特定費用準備資金の積立について以下のような提案があった。

再来年は、JATET創立30周年を迎えるため、何らかの記念事業を計画することや新規事業を立ち上げることが考えられ、特定費用準備資金として積立をしたらどうか。今年度は札幌でのフォーラムが中止になってしまったことも影響して、事業で使用した金額が少ないため、200万円以上の積立をすることができ、今年度の公益目的事業比率も50%以上確保することができる。今年度、特定費用準備資金として250万円を積み立てることを提案する。

荻野副会長の提案の後、審議に入り、特定費用準備資金については2年後の事業に向けて、250万円を積み立てることを全員一致で可決承認された。

第5号議案 東芝エルティーエンジニアリング株式会社 正会員A退会について 資料-5

中川事務局長から以下の説明があった。

1月25日付で退会届が届いている。2019年4月1日をもって親会社である東芝ライテック株式会社に舞台・スタジオ照明システム事業を譲渡されることになり、正会員Aの東芝エルティーエンジニアリング株式会社は退会となるが、東芝ライテック株式会社は賛助会員Aから正会員Aに会員種を変更となる（第6号議案）。

中川専務理事の説明の後、東芝エルティーエンジニアリング株式会社 正会員A退会について審議に入り全員一致で可決承認された。

第6号議案 賛助会員A 東芝ライテック株式会社 会員種変更（賛助会員A→正会員A）について 資料-6

中川専務理事から、東芝ライテック株式会社は、元々正会員Aだったので、賛助会員Aから戻る形となるとの説明があった。

中川専務理事の説明の後、東芝ライテック株式会社 会員種変更（賛助会員A→正会員A）について審議に入り全員一致で可決承認された。

続いて中川専務理事から以下のような意見があり、全員一致で了承した。

現在、西奈美副会長は、東芝エルティーエンジニアリングの代表者として、理事に就任されているが、3月末日に、法人としての東芝エルティーエンジニアリング株式会社が退会するにあたり、4月1日以降は正会員Aになる東芝ライテック株式会社の代表者として、引き続き理事を務めていただくこととした。

次に、中川専務理事から東芝ライテック株式会社の入会金について以下のような意見があり、全員一致で了承した。

通常、会員種変更の場合、入会金について差額分の支払いが発生する。しかし、東芝ライテック株式会社は、平成26年度に正会員Aから賛助会員Aに会員種を変更したが、正会員A入会時に入会金を支払っており、賛助会員Aへの切替時は、入会金は発生していない。今回賛助会員Aから正会員Aに戻る形となるため、今回の会員種変更にあたって入会金の差額は発生しないということで進めたい。

第 7 号議案 正会員 A カヤバシステムマシナリー株式会社 会員種変更
(正会員 A→賛助会員 A)について

資料-7

中川事務局長から以下の説明があった。

2月8日付で会員種変更届が届いている。免震、制振ダンパーの対応で、厳しい状況が続いている、現状の正会員 A から賛助会員 A に会員種を変更したいという申し出があり、一連の対応が完了して通常に戻った折には、是非正会員 A に復帰していただきたいとお願ひしている。

中川専務理事の説明の後、カヤバシステムマシナリー株式会社 会員種変更 (正会員 A→賛助会員 A)について審議に入り全員一致で可決承認された。

第 8 号議案 正会員 C 森 幹雄氏退会について

資料-8

2月15日付で退会届が届いている。

中川専務理事の説明の後、正会員 C 森 幹雄氏退会についての審議に入り全員一致で可決承認された。

第 9 号議案 賛助会員 B 稲垣 雅弘 (いながき まさひろ) 氏退会について 資料-9
12月1日付で退会届が届いている。

中川専務理事の説明の後、賛助会員 B 稲垣 雅弘氏退会についての審議に入り全員一致で可決承認された。

第 10 号議案 正会員 A 森平舞台機構(株) 伊藤 淑恵氏
建築部会退部について

資料-10

中川専務理事の説明の後、正会員 A 森平舞台機構(株) 伊藤 淑恵氏建築部会退部についての審議に入り全員一致で可決承認された。

第 11 号議案 正会員 A 森平舞台機構(株) 阿部 みゆき氏
建築部会退部について

資料-11

中川専務理事の説明の後、正会員 A 森平舞台機構(株) 阿部 みゆき氏建築部会退部についての審議に入り全員一致で可決承認された。

第 12 号議案 正会員 A カヤバシステムマシナリー(株) 山田 芳久氏
機構部会退部について

資料-12

中川専務理事の説明の後、正会員 A カヤバシステムマシナリー(株) 山田 芳久氏機構部会退部についての審議に入り全員一致で可決承認された。

第 13 号議案 正会員 A カヤバシステムマシナリー(株) 岡村 和徳氏
機構部会退部について

資料-13

中川専務理事の説明の後、正会員 A カヤバシステムマシナリー(株) 岡村 和徳氏機構部会退部についての審議に入り全員一致で可決承認された。

第 14 号議案 正会員 A カヤバシステムマシナリー(株) 鈴木 慎也氏
機構部会退部について

資料-14

中川専務理事の説明の後、正会員 A カヤバシステムマシナリー(株) 鈴木 慎也氏機構部会退部についての審議に入り全員一致で可決承認された。

第 15 号議案 賛助会員 B 森本 雅記氏 音響部会退部について 資料-15
中川専務理事の説明の後、賛助会員 B 森本 雅記氏 音響部会退部についての審議に入り全員一致で可決承認された。

第 16 号議案 「JATET-L-19210 演出空間専用差込接続器 D 型 30A 規格」について

資料-照明部会

中川専務理事から以下のような説明があった。

演出空間では 200V 系電源の照明器具や演出用装置を使用する頻度が増し、従来 JATET-L-6060 (D 型 20A 規格) が制定されているが、20A を超える容量に対応するための規格が必要となり、照明部会 JATET-L 規格作成調査委員会で検討審議の結果、照明部会として

「JATET-L-19210 演出空間専用差込接続器 D 型 30A 規格」を制定した。当規格は書籍販売を予定しており照明部会の発行希望数は 100 部。印刷費は約 ¥20,000 前後かかる予定で、当該規格の発行は計画段階では予定してなかったが、規格発行費用として予算 20 万円を組んでいたので、予算内で収まる見込み。

照明部会では、頒布希望価格はないということだが、現行の JATET 出版物頒布価格設定基準では、10 頁以下で一般頒布価格 ¥1,000、会員頒布価格 ¥700 となっている。価格についてもご審議をお願いします。

中川専務理事の説明の後、「JATET-L-19210 演出空間専用差込接続器 D 型 30A 規格」の発行と書籍販売について審議に入り、頒布に当たっては一般価格 1,000 円、会員頒布価格 700 円とすることで、発行と書籍販売を全員一致で可決承認された。

第 17 号議案 「引綱ロープの引っ張り強度試験結果及び廃棄基準」HP 公開について

資料-機構部会

機構部会より、「引綱ロープの引っ張り強度試験結果及び廃棄基準」をホームページ上に公開したいと申し出があった、「引綱ロープの引っ張り強度試験結果及び廃棄基準」は、これまで吊物装置の昇降用引綱ロープとして使用されているマニラロープについては、公的な廃棄基準や交換推奨時期が明確に規定されていなかったため、他の産業分野で使われているロープなども考慮に入れ、機構部会としての廃棄基準を定めたものである。

中川専務理事の説明の後、審議に入り「引綱ロープの引っ張り強度試験結果及び廃棄基準」のホームページ公開は全員一致で可決承認された。

5. その他

1) 森会長から使用許可を出した「舞台美術展 JATDT60」「第 46 回伊藤薰賞展」後援名義 使用について、理事会として承認することが諮られ、全員一致で承認された。

2) 第 46 回定期例理事会（4 月）の開催日程について

第 46 回定期例理事会は平成 31 年 4 月 23 日（火）14 時からとする。

3)閉会

16 時 5 分 森会長が閉会を宣言して終了した。

平成 31 年 2 月 22 日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

第 45 回定例理事会

役職

署名

捺印

議長（代表理事 森健輔）

森 健輔



監事（尾澤輝行）

尾澤輝行



監事（間瀬勝一）

間瀬勝一



議事録作成署名人（鈴木伸一）

鈴木伸一

